NTT docomo

F-51G

arrows Alpha2

取扱説明書

はじめに

「F-51G」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本端末には視覚に障がいのある方にご利用いただけるように、画面上の情報などを読み上げるTalkBack機能があります。

- 機能をオンにするにはホーム画面で(アプリ一覧)→［設定］→［ユーザー補助］→［TalkBack］→［「TalkBack」の使用］をONにしてください。解除も同様です。
- 「TalkBack」の設定については「ユーザー補助」をご確認ください。→P150

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」（本体付属品）

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」（PDFファイル）

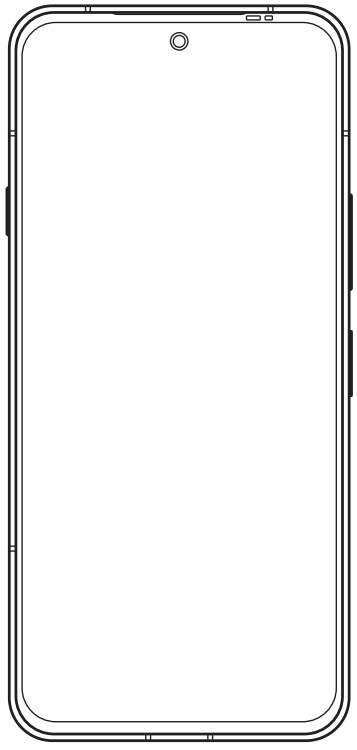
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

- 本書においては、「F-51G」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本書は端末カラーが「インディゴ」、ホームアプリが「ドコモホーム（docomo LIVE UX）」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 使用状況によって、本書に記載している内容と実際の表示が異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

■ F-51G本体



■ クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.docomo.ne.jp/products/accessories/list

目次

■本体付属品 1

注意事項 5
本端末のご利用について 5
安全上のご注意（必ずお守りください） 7
取り扱い上のご注意 17
防水／防塵、耐衝撃性能 23

ご使用前の準備 31
各部の名称と機能 31
nanoSIMカード 33
eSIM 36
microSDカード 36
充電 39
電源を入れる／切る 41
初期設定 42
本端末で利用する暗証番号について 44

基本操作 47
基本操作 47
文字入力 50
画面表示／アイコン 55
タスク管理 60
分割画面 61

ホーム画面 62
ホームアプリの切り替えかた 62
docomo LIVE UX 62
ホーム画面の見かた 63
ホーム画面の管理 64
アプリ一覧画面 65
SmartNews for docomo 69
my daiz NOW 70
ホームアプリの情報 70
arrows today 71

電話／電話帳 72
電話をかける 72
電話を受ける 75
通話中の操作 76
発着信履歴 77
伝言メモ 78
通話設定 78
電話帳 79
自分の電話番号 81

メール／ウェブブラウザ 82
ドコモメール 82
＋メッセージ 82
メッセージ 88
Gmail 88
緊急速報「エリアメール」 89
ウェブブラウザ 90

カメラ 94
カメラ 94
フォト 99

アプリ 100
dメニュー 100
Play ストア 100
おサイフケータイ 101
arrowsポータル（La Member's） 104
らくらくコミュニティ 105
ララしあコネクト 105
FASTメモ 107
位置情報・GPS 107
スケジュール 109
時計 110
電卓 112
検索 112

本体設定 113
設定メニュー 113
arrowsオススメ機能 114
Google 118
arrows AI 118
ネットワークとインターネット 119
接続済みのデバイス 127
アプリ 128
通知 129
音とバイブレーション 130
モード 131
ディスプレイ 132
ホーム画面とロック画面 133
ジェスチャー 134
ストレージ 134
データのバックアップまたはコピー 135
バッテリー 135
システム 136
端末情報 140
セキュリティとプライバシー 141
ドコモのサービス／クラウド 147
パスワード、パスキー、アカウント 148
Digital Wellbeing、保護者による使用制限 149
緊急情報と緊急通報 149
ユーザー補助 150

ファイル管理 152
本体（内部ストレージ） 152
microSDカード（外部ストレージ） 152
ファイル操作 153

データ通信 154
Bluetooth®通信 154
NFC通信 156
docomo Starlink Direct 157

外部機器接続 158
パソコンとの接続 158
プリンタとの接続 159

海外利用 160

国際ローミング（WORLD WING）の概要 160
海外で利用可能なサービス 160
海外でご利用になる前に 161
滞在先で電話をかける／受ける 163
国際ローミングの設定 165
帰国後の確認 165

付録 166

トラブルシューティング（FAQ） 166
ソフトウェアアップデート 172
保証とアフターサービス 174
主な仕様 177
携帯電話機の電波防護への適合性 178
Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones 179
輸出管理規制 185
知的財産権 186

索引 189

索引 189

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンの◪が表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合があります。
- 5G・LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報およびその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P141
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play などのGoogle サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありません。
- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

◆本端末、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険


禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れたり濡らさないでください。
また、濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」


禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む


禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

本端末の外装ケースは取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れなどにより本端末が膨れている場合も、外装ケースを取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

本端末のお手入れの際には、消毒液や水分が隙間、充電端子や外部接続端子および、マイクやスピーカー部に入らないようにしてください。
本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。


禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P23「防水／防塵、耐衝撃性能」


禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。


禁止

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
スロットキャップのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。


指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険


禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告


禁止

フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。


禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。


禁止

本端末内のスロットキャップの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やステープラーの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。


指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。


指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。


指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意


禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。


禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。


禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P16「材質一覧」

指示

本端末のアウトカメラ部、受話口／スピーカー部、スピーカー部、バイブレータ部（背面下部）に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やステープラーの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆アダプタの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。


禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）


指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。


指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。


指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。


電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意


禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆nanoSIMカードの取り扱い

⚠注意


指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告


指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本端末を15cm以上離れるように携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。


指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。


指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

■ F-51G 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	側面	アルミニウム+樹脂（PMH+GF40%）／ヘアライン処理、アルマイト処理
	背面	GFRP／ハードコート
フラッシュ／ライトパネル		PMMA／なし
アウトカメラパネル		強化ガラス／AFコーティング
カメラフレーム		アルミニウム／アルマイト処理
電源キー／指紋センサー		EMC／アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー		アルミニウム／アルマイト処理
アクションキー		アルミニウム／テクスチャ処理、アルマイト処理
スロットキャップ	キャップ本体	アルミニウム／ヘアライン処理、アルマイト処理
	キャップ本体パッキン部	シリコンゴム／なし
	トレイ	PC樹脂+SUS／なし
USB Type-C接続端子		PA樹脂／なし
脈波センサーパネル		PMMA／AFコーティング

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
  - アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となりますのでご注意ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - 端子や各センサーなどが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
  - シンナー、ベンジンなどで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **消毒・除菌について**
  - 本端末はアルコール除菌シート・スプレーを使用して、噴霧または拭き取りにより、本端末の消毒や一定量のウイルス除去ができます。※1
    本端末を除菌・消毒する際には、誤動作防止のため画面を消灯してから行ってください。
    スプレーをご使用の場合は、本端末から5cm程度離し、霧吹きで噴霧して拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。
    アルコール除菌シートまたは液剤を浸み込ませたキッチンペーパーをご使用の場合は、製品を拭き取り、その後水拭きしてアルコールや液剤を取り除いてください。
  - 使用できる薬剤等は以下のとおりです。
    アルコール※2、次亜塩素酸水、界面活性剤（台所用洗剤）、界面活性剤（家具用洗剤）。ただし、塩素や塩素系添加物の含有量が0.05w/v%以下の液剤をご使用ください。

※1 厚生労働省・経済産業省［独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）］・消費者庁発表の消毒方法をもとに、FCNT合同会社試験方法により検証実施済み（本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての消毒用製品・洗剤で洗えることを保証するものではありません）。

※2 市販のアルコール（エタノール）消毒液およびアルコールタイプ（エタノール）のウェットティッシュ。

- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
    また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  - 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
    なお、風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度45%～99%（ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）の範囲でご使用ください。
    充電は5℃～35℃の範囲でしていただき、風呂場や湿度の高い場所では充電しないでください。
    風呂場でのご使用については、「F-51Gが有する防水性能でできること」（→P24）をご参照ください。
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
    また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
  - 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
    近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
    →P31「各部の名称と機能」
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタについてのお願い

- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

◆nanoSIMカードについてのお願い

- **nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- **環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **nanoSIMカードに以下のことをしないでください。**
  - 曲げたり、重いものをのせる
  - ラベルやシールなどを貼った状態で本端末に取り付ける

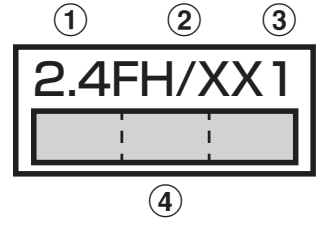
◆Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- **周波数帯について**

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

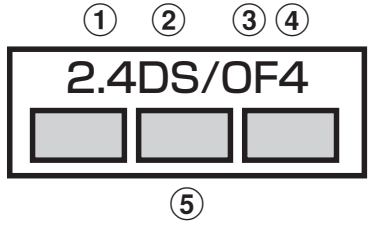
■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- **本端末で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。**
  ホーム画面で→［設定］→［端末情報］→［規制ラベル］
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- **周波数帯について**

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。
本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、40、44、48ch）

- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯：5500～5720MHz（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

6GHz機器使用上の注意事項

6GHzの送信電力クラスはLPI（Low Power Indoor）とVLP（Very Low Power）に対応しています。
6GHz帯無線LANのLPIモードでの屋外利用は法律で禁止されています。
本端末が日本で使用できる周波数は次のとおりです。

- 6GHz帯：5925MHz～6425MHz

◆FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
  また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊣」が本端末の電子銘板に表示されております。
  電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
  ホーム画面で→［設定］→［端末情報］→［規制ラベル］
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-51Gは、スロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX6※1、IPX8※2、IPX9※3の防水性能、IP6X※4の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※5をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

※1 IPX6とは、内径12.5mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から100L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3 IPX9とは、高温・高圧水・スチームジェット洗浄を80℃の湯を指定された形状のノズルで10～15cmの距離から、80～100barの水圧で放水（14～16L/分）、本体を水平方向に0度・30度・60度・90度で各方位に30秒ずつ水平面上で回転させながら実施したのちに通信機器として機能を有することを意味します。

※4 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

※5 米国国防総省が制定したMIL-STD-810H Method 516.8 Procedure Ⅳに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で鉄板に落下させる試験
耐衝撃	40Gの衝撃を6方向から3回与える試験
防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m^3、風速8.9m/s）の粉塵試験
防塵（脆弱面90分）	脆弱面に最小で90分間砂を当てる試験
塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m^2）の日射試験
耐日射（変化）	温度（最大49℃）と日射量（最大1,120W/m^2）を変化させながらの日射試験（24時間サイクルで3回）
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
雨滴	1mの高さから15分間雨滴を落とす試験
熱衝撃	-21～50℃の急激な温度変化において、連続3時間の温度耐久試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温動作（32～49℃変化）	温度32～49℃までの変化を3サイクル実施する高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
高温保管（30～60℃変化）	温度30～60℃まで変化させる高温試験

低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
氷結（-10℃結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認（凍結融解）
氷結（-10℃氷結）	-10℃の冷却水で、6mm厚の氷が張るまで氷結させる試験

本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

❖F-51Gが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - スロットキャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、指定（→P24）以外の石鹸などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
- **本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます（FCNT合同会社試験方法による）。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。**
  - 洗いかたについては「洗いかたについて」（→P27）をご参照ください。

※ 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。

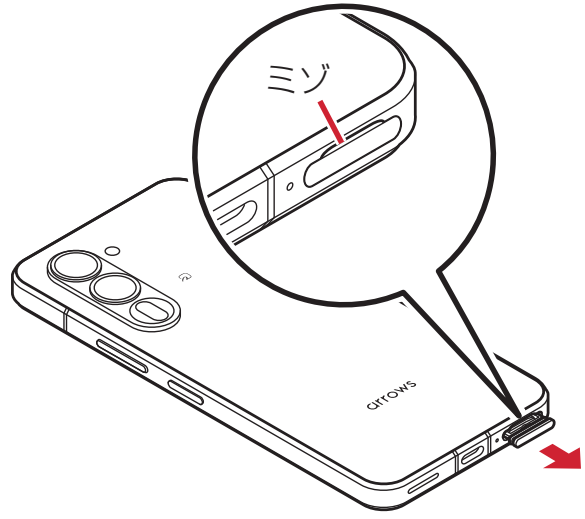
- **本端末についた泡は、やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で、しっかりすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。**
- **本端末を洗う際はスロットキャップを確実に取り付けてください。**

- **風呂場で使用できます。**
  - 風呂場でご使用後は、所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P29）で水抜きしてください。
  - 温泉や指定（→P24）以外の石鹸、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%（ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）の範囲でご使用ください。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用にあたって、すべての状況での動作および無破損・無故障を保証するものではありません。
    また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。
  - 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったり、タッチ操作がしにくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。

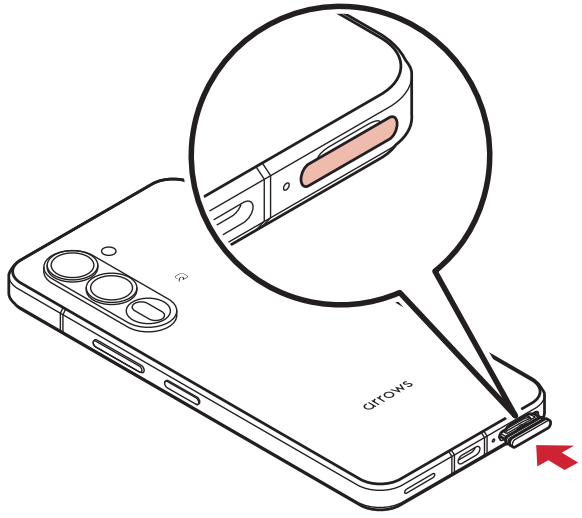
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- nanoSIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外しでスロットキャップを開けるときは、本端末下側にあるミゾに指先をかけてまっすぐ水平に引き出してください。
  - ※ スロットキャップのミゾは、本端末のディスプレイ側を上にしている場合は下側の左寄りに、本端末の背面を上にしている場合は下側の右寄りにあります。
  - ※ スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。
  - ※ スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。



- スロットキャップを閉じるときは、本端末下側にあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込んでしっかりと押し、本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- スロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、スロットキャップ、通気孔などを先の尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- スロットキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のような行為は行わないでください。

- 指定以外の石鹸／洗剤／入浴剤をつける
- ブラシ／スポンジで洗う
- 洗濯機で洗う
- 強すぎる水流を当てる
- 海水につける
- 温泉で使う
- 砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタやUSBケーブルを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。F-51GはIPX6、IPX9の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、通気孔に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に水滴を残さないでください。
- 本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。
- 指定（→P24）以外の石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- スロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆洗いかたについて

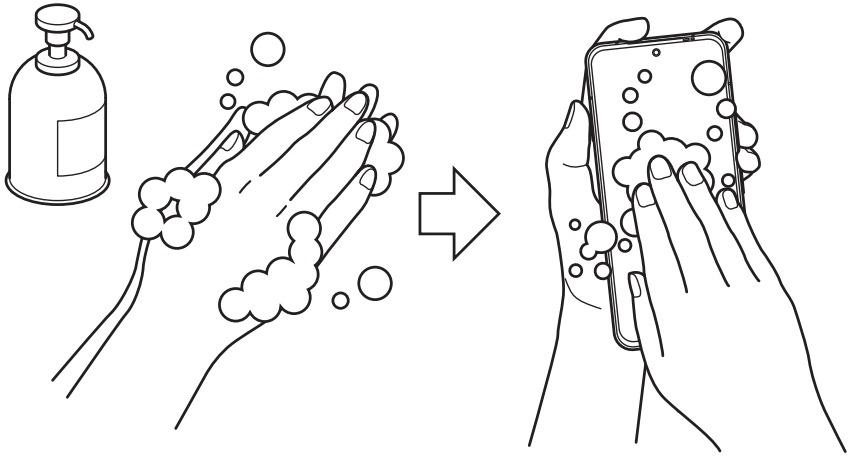
本端末を洗う場合には注意事項をご確認の上、次の手順で行ってください。

- 市販のアクセサリー商品（端末カバー、ケースなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリー商品の取り扱いについては、各商品の注意事項をご確認ください。
- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。上記以外（固形石鹸や粉末石鹸など）は使用しないでください。
- 塩素や塩素系添加物の含有量が0.05w/v%以下の液剤をご使用ください。
- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みの上、使用量の目安を守って洗ってください。
- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接つけないでください。原液がついた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷がつくおそれがあります。
- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。

• スロットキャップはしっかりと閉じてください。

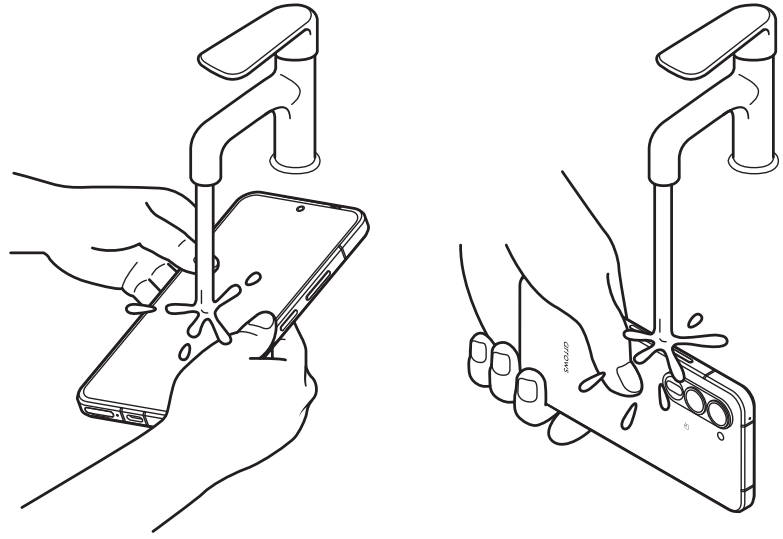
① 泡ハンドソープまたは食器用洗剤を手にとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。

• スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



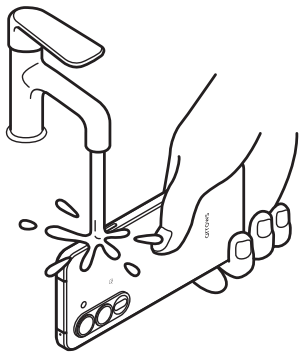
② 前面、背面、各キーなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

• やや弱めの水流（6L／分以下、常温の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。
• スロットキャップの開閉はしないでください。
• スロットキャップに直接水をかけないでください。

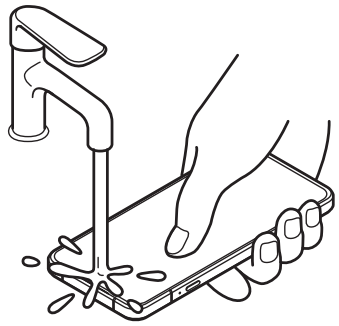


③ 受話口／スピーカー、セカンドマイク、送話口／マイク、USB Type-C接続端子、スピーカー、通気孔をすすいでください。

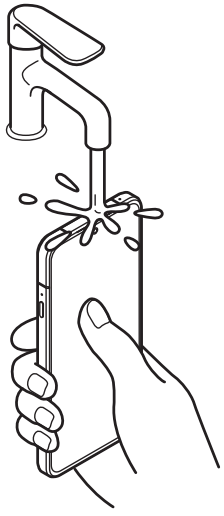
• 受話口／スピーカー、セカンドマイク、送話口／マイク、スピーカー、通気孔に泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。
また、USB Type-C接続端子は充電不良など故障の原因となります。
しっかり洗い流してください。



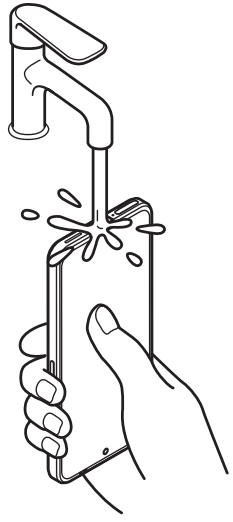
通気孔



受話口／スピーカー



セカンドマイク



送話口／マイク
USB Type-C接続端子
スピーカー

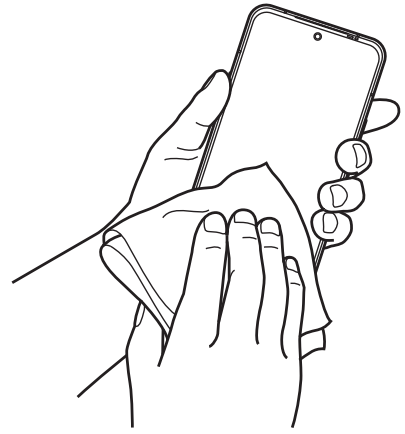
④ 水抜きをしてください。→P29

- 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

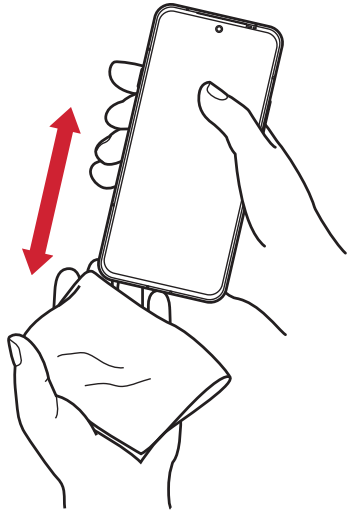


② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口／スピーカーとフラッシュ／ライトの位置を入れ替えて同じように振ってください。

- 本端末を振り落とさないように、しっかり握ってください。



③ USB Type-C接続端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、セカンドマイク、通気孔、キーなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

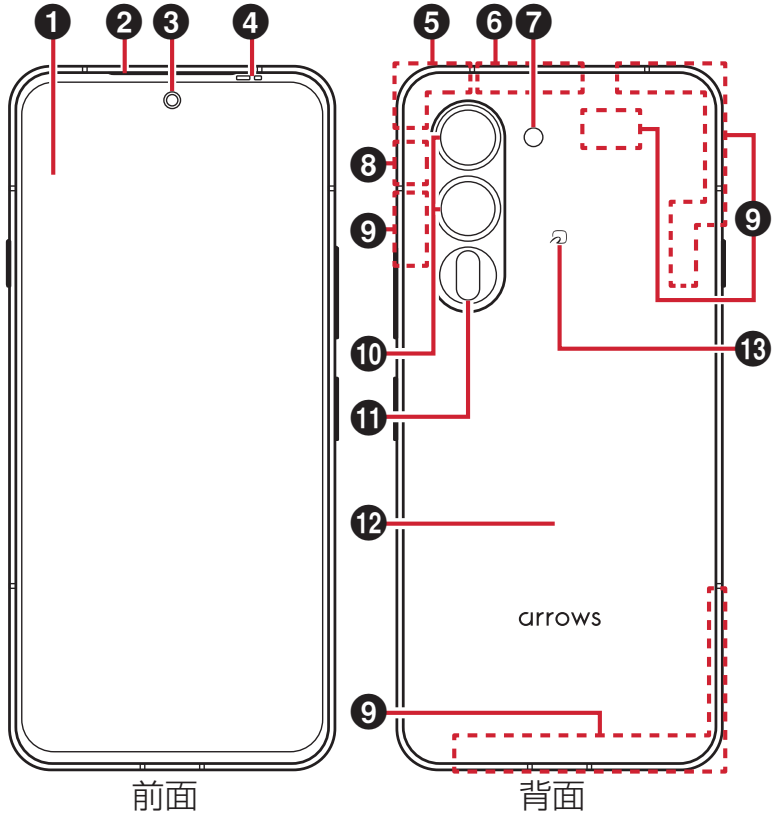
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

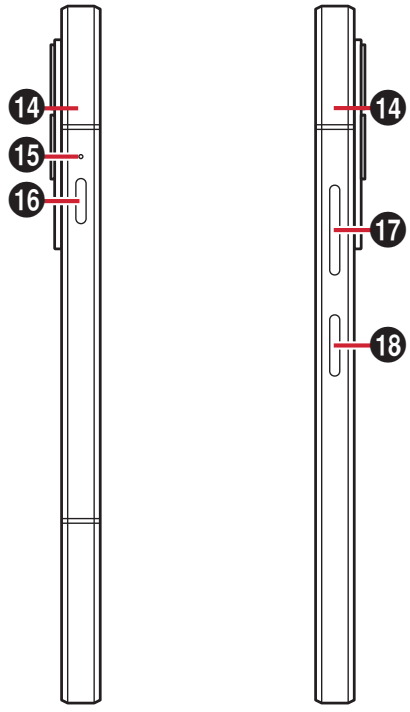
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタやUSBケーブルは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタやUSBケーブルに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



❶ ディスプレイ（タッチパネル）→P47
❷ 受話口／スピーカー※1
❸ インカメラ→P94
❹ 近接センサー／照度センサー※2
通話中に顔の接近を検知してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
❺ 5G／4G／GPSアンテナ部※3
❻ Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部※3
❼ フラッシュ／ライト
❽ Wi-Fiアンテナ部※3
❾ 5G／4Gアンテナ部※3
❿ アウトカメラ→P94
⓫ 脈波センサー※4→P106
⓬ 外装ケース（背面）
⓭ マーク→P101



左側　　右側

⓮ 外装ケース（側面）

⓯ 通気孔

⓰ アクションキー→P114、P134

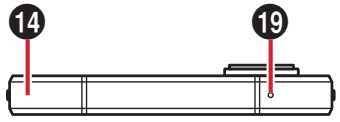
- お気に入りのアプリを選択し、最大3つの機能を利用することが可能です。
- アプリを設定するには、ホーム画面で→［設定］→［ジェスチャー］→［アクションキー］を選択します。

⓱ 音量キー

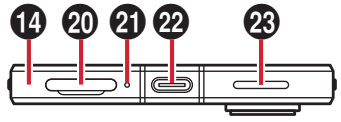
各種音量の調節やカメラの撮影などに使用します。

⓲ 電源キー／指紋センサー ※4→P41、P73、P143

- 電源を入れる／切る、画面を点灯／消灯する、指紋認証を利用するときに使用します。電源キーを長押しするか、電源キーと音量キーの上を同時に押すと電源ボタンメニューが表示され、電源を切る、再起動、緊急通報などの操作ができます。
- 電源キーを押したときに起動する機能を設定するには、ホーム画面で→［設定］→［ジェスチャー］→［電源キー］を選択します。



上側



下側

⑲ セカンドマイク※1

- 通話時に騒音を抑えるために使用します。また、ハンズフリー通話中は送話口として使用します。
- 動画撮影時の音声の録音にも使用します。

⑳ スロットキャップ※5

㉑ 送話口／マイク※1

㉒ USB Type-C接続端子（防水）

- 充電時やパソコンなどの接続時に使用します。USB Power Deliveryに対応しています。
- 超急速充電に対応しています。超急速充電を行うには、90Wの充電に対応した充電器およびUSBケーブルをご使用ください。

㉓ スピーカー

※1 保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりしないでください。

※2 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

※3 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※4 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、正しく検知されない場合があります。

※5 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。

■ ご注意

- 外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

nanoSIMカード

nanoSIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではnanoSIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてnanoSIMカードにお取り替えください。
- nanoSIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能を利用することができません。
- 電源を入れた状態で、nanoSIMカードを取り付けたスロットキャップを抜き差ししないでください。
- nanoSIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆nanoSIMカードの取り付け／取り外し

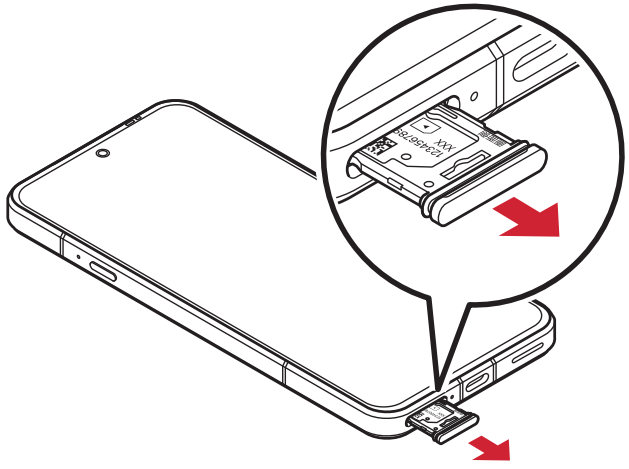
- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- nanoSIMカードの取り付けには、必ずスロットキャップを使用してください。nanoSIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■取り付けかた

1 本端末のディスプレイ側を上に向け、本端末下側の左寄りにあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける

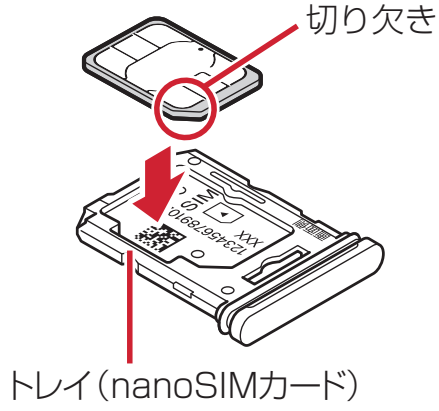
2 スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

- スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。
- スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。

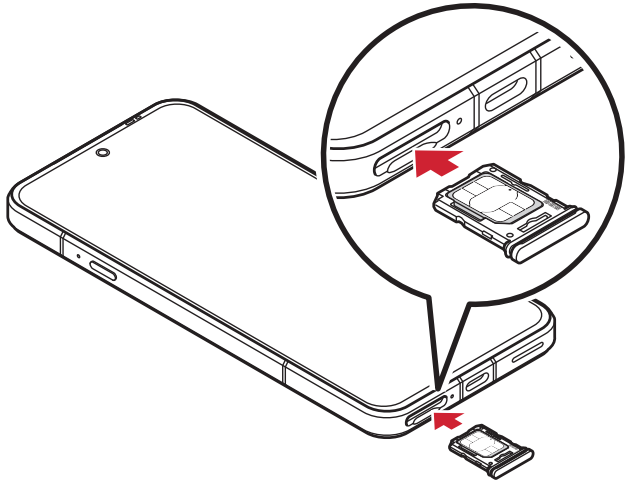


3 nanoSIMカードのIC面を上にして切り欠きをスロットキャップ側に向けた状態で、スロットキャップのトレイ（nanoSIMカード）にはめ込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- スロットキャップのトレイからnanoSIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



4 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、本端末下側の左寄りにあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



5 スロットキャップをしっかり押して閉じる

- 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

■ 取り外しかた

1 本端末のディスプレイ側を上に向け、本端末下側の左寄りにあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける

2 スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

- スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。
- スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。

3 nanoSIMカードをスロットキャップのトレイから取り外す

4 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、本端末下側の左寄りにあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む

5 スロットキャップをしっかり押して閉じる

- 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

✓お知らせ

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、nanoSIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、nanoSIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップをスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。
- スロットキャップを開ける際に、スロットキャップ横の送話口／マイクに先の尖ったものを差し込まないでください。

◆ nanoSIMカードの暗証番号

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。→P44

eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。

- eSIMのご利用には設定が必要です。→P123

✓お知らせ

- お客様ご自身で、eSIMに登録された情報は、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- eSIMについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2TBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2026年7月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの読み込み中や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

✓お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード（クラス10以上を推奨）をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

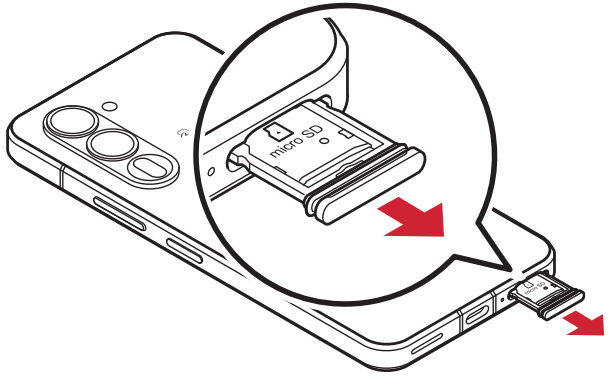
- スロットキャップにnanoSIMカードを取り付けた状態で、microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、電源を切ってから行ってください。
- スロットキャップにnanoSIMカードを取り付けていない状態で、microSDカードの取り外しをするときは、microSDカードのマウントを解除（→P134）するか、電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

1 本端末のディスプレイ側を下に向け、本端末下側の右寄りにあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける

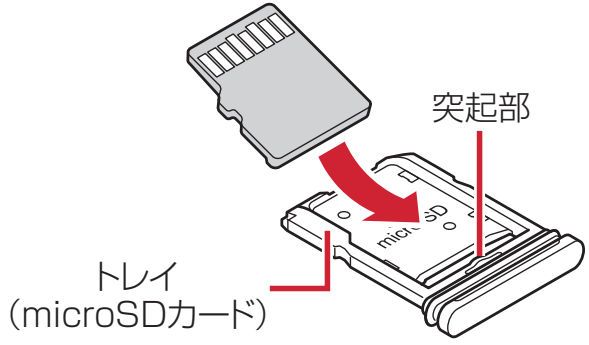
2 スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

- スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。
- スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。

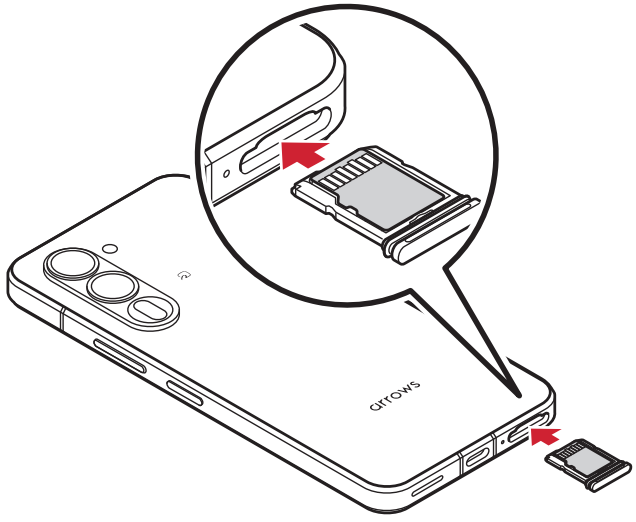


3 microSDカードの金属端子面を上にして端末側に向けた状態で、スロットキャップのトレイ（microSDカード）の突起部に押し当てながらはめ込む

- microSDカードの向きにご注意ください。
- スロットキャップのトレイからmicroSDカードが浮かないようにはめ込んでください。浮き上がった状態のまま本端末に取り付けると、破損または取り外せない原因となります。



4 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、本端末下側の右寄りにあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む



5 スロットキャップをしっかり押して閉じる

- 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

■ 取り外しかた

1 本端末のディスプレイ側を下に向け、本端末下側の右寄りにあるミゾに指先をかけてスロットキャップを開ける

2 スロットキャップをまっすぐ水平に引き出す

- スロットキャップは本端末から外れる構造になっています。
- スロットキャップを開けた後、スロットキャップを下に強く押さないでください。スロットキャップの破損の原因となります。

3 microSDカードをスロットキャップのトレイから取り外す

4 本端末のディスプレイ側が下に向いていることを確認して、本端末下側の右寄りにあるスロットにスロットキャップをまっすぐ水平に差し込む

5 スロットキャップをしっかり押して閉じる

- 本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

✓お知らせ

- microSDカードを取り扱うときは、金属端子面に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、microSDカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、microSDカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- スロットキャップをスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。スロットキャップが破損するおそれがあります。
- スロットキャップを開ける際に、スロットキャップ横の送話口／マイクに先の尖ったものを差し込まないでください。

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになります。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになります。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになります。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱拠点までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間や連続で使用できる時間については「主な仕様」をご覧ください。→P177
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
  https://onlineshop.docomo.ne.jp/products/accessories/list

❖内蔵電池の寿命について

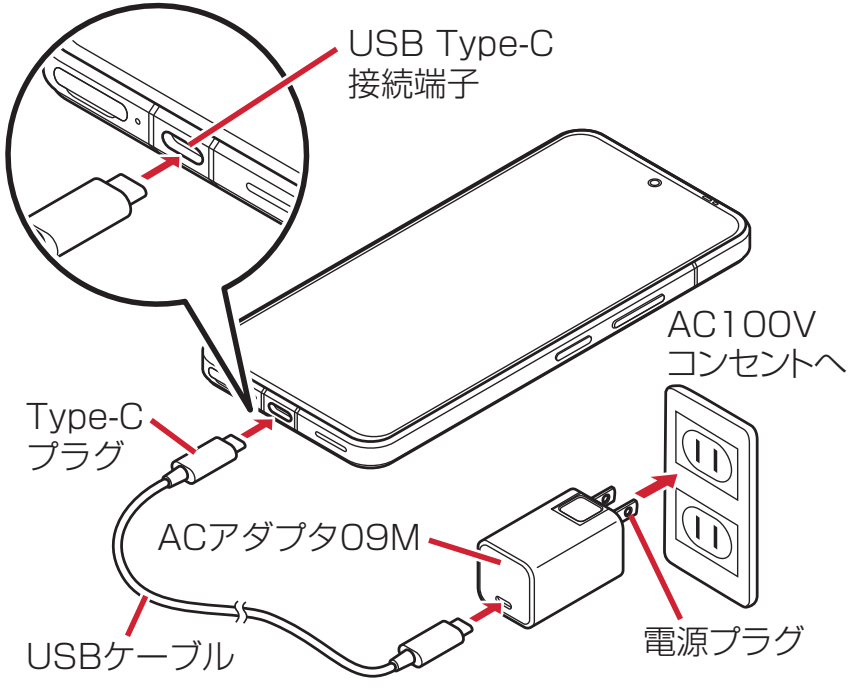
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「バッテリー」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P135
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱拠点までお問い合わせください。
- このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
  製造元 FCNT合同会社



◆ ACアダプタを使って充電

ACアダプタ09M（別売品）とUSBケーブルを使って充電する場合は次の操作を行います。

① USBケーブルのType-Cプラグを、ACアダプタ09MのUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
② USBケーブルのもう一方のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
③ ACアダプタ09Mの電源プラグをコンセントに差し込む
④ 充電が終わったら、ACアダプタ09Mの電源プラグをコンセントから抜く
⑤ 本端末のUSB Type-C接続端子からUSBケーブルのType-Cプラグを水平に抜く



◆ パソコンを使って充電

USBケーブルを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、画面を閉じてください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とスロットキャップの間にすき間がないことを確認してください。

1 電源キーを押し続ける（3秒以上）

画面が点灯した後、本端末が振動し誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P42

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→P42

◆ 電源を切る

1 電源キーを長押し、または電源キーと音量キーの上を同時に押す

電源ボタンメニューが表示されます。

2 [電源をOFFにする]

本端末が振動して電源が切れます。

◆ スリープモード

スリープモードになることで、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

1 電源キー

✓お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、[画面消灯]（→P132）の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆画面ロックの解除

1 スリープモード中に電源キー

2 ロック画面を上にスワイプ

ロックが解除されます。



- 画面ロックの設定（→P141）によっては、ロック画面を上にスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面のFを左にスライドし、／／のいずれかに指を合わせて離すとFASTメモが起動します。→P107

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- はじめてのご利用時にeSIMを設定する場合は、［eSIMを設定する］をタップし、以降は画面の指示に従って設定を行ってください。→P123
- Google アカウントの設定などにより表示される項目が異なる場合があります。

1 ようこそ画面で［開始］

- ［日本語（日本）］をタップすると、言語を変更できます。
- ［視覚補助］をタップすると、視覚補助の設定を変更できます。
- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - 別のデバイスを使ったセットアップ
  - ネットワークの接続設定→P119
  - Google アカウント→P43
  - 画面ロックの設定→P141
  - 指紋によるロック解除とアプリ登録→P114、P143
  - アプリとデータのコピー方法の選択
  - Google サービス
  - ブラウザと検索エンジンを選択
  - Quick Shareの設定
  - Google Gemini の設定
  - Google ウォレット
  - ホームアプリ選択→P62
  - 自分からだ設定→P148
  - Exlider→P114

- FCNTサービス利用
- 迷惑電話対策機能→P117
- データの送信について→P140

2 docomo初期設定画面で[次へ]

- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - サービス向上のための情報利用に関するお願い
  - 機能の利用確認
  - dアカウントの設定
  - あんしん設定
  - かんたん一括設定
  - その他のアプリの設定

✓お知らせ

- 確認画面などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、ブラウザをChrome™、検索エンジンをGoogleに設定した場合の操作・画面を説明しています。

◆ Google アカウントの設定

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogle アカウントを設定することで、Gmail を利用してEメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[パスワード、パスキー、アカウント]

2 [アカウントを追加]→[Google]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- 本端末には複数の Google アカウントを設定することができます。

◆ dアカウントの設定

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdポイントマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。

1 ホーム画面で→[設定]→[ドコモのサービス／クラウド]→[dアカウント設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。

❖画面ロック用パターン／PIN／パスワード

画面ロックの解除時に認証操作を必要とすることで、本端末のセキュリティを確保することができます。設定できる認証操作の種類には、最低4つの点を結ぶパターン、4～16桁の数字を設定するPIN、4～16桁の英数字と記号で設定するパスワードがあります。→P141

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

nanoSIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P46
PINコードは、第三者によるnanoSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。eSIMを使用している場合は、本端末の電源を入れるたびにPINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。eSIMを使用している場合は、eSIMの再発行により、初期設定の「0000」に戻ります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- PINロックまたはPUKロックされた場合、以下の操作をすることでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。
  - nanoSIMカード：nanoSIMカードを本端末から取り外す
  - eSIM：PIN／PUKロック画面で［eSIMを無効にする］をタップする

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、nanoSIMカード／eSIMがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINロックまたはPUKロックされた場合、以下の操作をすることでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。
  - nanoSIMカード：nanoSIMカードを本端末から取り外す
  - eSIM：PIN／PUKロック画面で［eSIMを無効にする］をタップする

◆PINコードの設定（SIMロック）

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]→[SIM ロック]

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、設定するSIMを選択します。

2 [SIM をロックする]

- 説明画面が表示された場合は［OK］をタップします。

3 PINコードを入力→[OK]

✓お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、手順2で［SIM をロックする］をOFFにします。

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合（PUKロック）は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コード（PUK）を入力→⇥

2 新しいPINコードを入力→⇥

3 もう一度新しいPINコードを入力→⇥

◆PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIM をロックする] をONにする）しておく必要があります。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]→[SIM ロック]

- 2つのSIMを同時に利用している場合は、PINコードを変更するSIMを選択します。

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

基本操作

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。

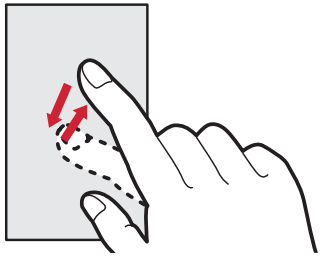
❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

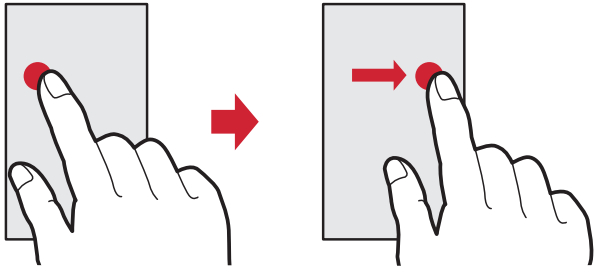
❖ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま続けて操作を行う場合もあります。

❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

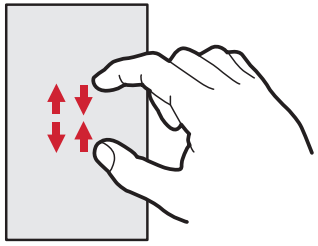
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

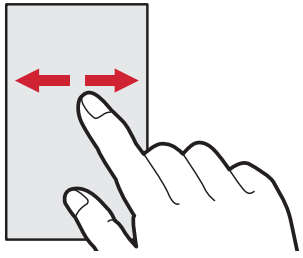
❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆縦／横画面表示の自動切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。→P132

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- クイック設定（→P58）の「自動回転」でも設定できます。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 電源キーと音量キーの下

スクリーンショットが保存され、画面左下に保存した画像が表示されます。

- ホーム画面で［フォト］をタップすると、画像を確認できます。

✓お知らせ

- 最近使ったアプリの表示中に、をタップしてもスクリーンショットを保存できます。→P60

❖スクリーンショットの範囲を拡大する

縦長の画面の範囲を拡大して、画像として保存します。

1 電源キーと音量キーの下

画面左下に画像が表示され、画像の上にが表示されます。

2

画像の上にが表示され、画面のスクロールが開始されます。

3 拡大したい範囲まで画面がスクロールされたら、画像の上の

指定した範囲のスクリーンショットが保存されます。

- ホーム画面で［フォト］をタップすると、画像を確認できます。

◆アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「スケジュール」アプリを初めて起動する場合

1 ホーム画面で→[ツール]→[スケジュール]→内容を確認して[次の画面へ]

確認画面が表示されます。

2 [許可]／[許可しない]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アクセス権限を許可していても、アプリをしばらく使用しないとアクセス権限がリセットされ、起動時に確認画面が表示される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で→［設定］→［アプリ］→［XX個のアプリをすべて表示］→アプリを選択→［許可］→変更する権限を設定します。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P53

◆ キーボードの使いかた

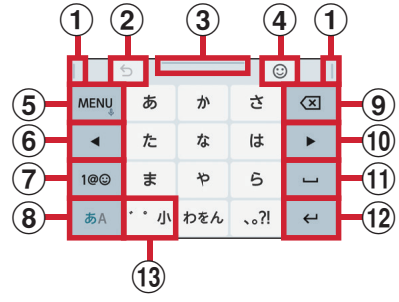
テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P51
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P54

■ テンキーキーボード

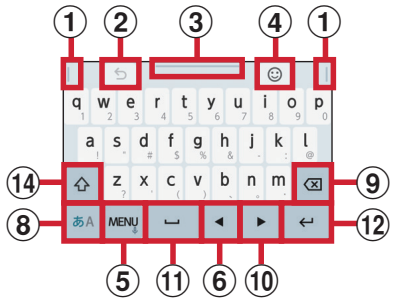
1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P52



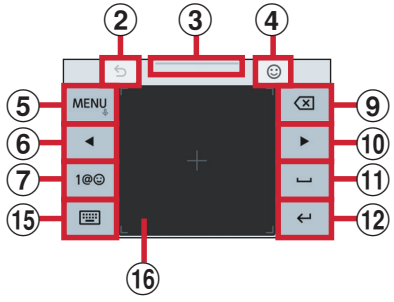
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



• 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を調整

② 入力した文字を前の状態に戻す

③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調整

④ 数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示

⑤ MENU：メニューの表示

• メニューを表示すると、次の操作ができます。

テンキー：テンキーキーボードへ切り替え

QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え

手書き：手書き入力へ切り替え

音声入力：音声入力へ切り替え

定型文：定型文の表示

ユーザー辞書：ユーザー辞書の登録／編集

テーマ切替：キーボードテーマの切り替え

引用アプリ：電話帳の引用、arrows passportの引用

［設定］をタップすると、キーを上にフリックしたときに起動するアプリを選択できます。

arrows passport：arrows passportの引用→P116

設定：Super ATOK ULTIASの設定→P53

• 上にフリックすると設定した引用アプリを起動します。右にフリックして郵便番号を入力→［変換］をタップすると、郵便番号に対応した住所を入力できます。

MENU（ロングタッチ）：音声入力の起動

• 音声入力を起動すると、画面右上に数秒間（アプリはマイクを使用しています）が表示されます。

：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動

• テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。

QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、右にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑦ 数字／記号／顔文字／絵文字一覧の表示

⑧ あA：かな／英字入力モードの切り替え

あA1：かな／英字／数字入力モードの切り替え

あ1：かな／数字入力モードの切り替え

⑨ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）
- 文字確定後にキーを上にフリックするとカーソルの右側の文字を削除、左にフリックするとカーソルの左側にある文字を全削除します。
- 文字確定後に削除した文字を元に戻すには、キーを下にフリックします。

⑩ カーソルを右に移動
- テンキーキーボード、手書き入力では、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。
  QWERTYキーボードでは、上にフリックするとカーソルを上に移動、左にフリックするとカーソルを下に移動します。

⑪ ␣：空白の入力
- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

変換：文字の変換

⑫ ↵：確定または改行

確定：確定

次へ：次の入力欄へカーソルを移動

：検索

実行：実行

⑬ ゛゜小：小文字／大文字の切り替え、濁点／半濁点をつける

A/a：英字の大文字と小文字の切り替え

⑭ ⇧（シフトなし）：小文字を入力

⬆（シフト）：最初の1文字のみ大文字を入力

⇪（シフトロック）：大文字を入力
- キーに割り当てられた記号も切り替わります。

⑮ テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに戻る

⑯ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される訂正候補一覧から文字を選択できます。訂正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

✓お知らせ
- キーボードを非表示にするには、▼をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- 変換候補にない単語を入力して確定したとき、②の位置に が表示される場合があります。 をタップすると入力した単語をユーザー辞書に登録できます。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。
- ［文字入力方式／動作］でテンキーの入力方式を選択して利用します。→P54

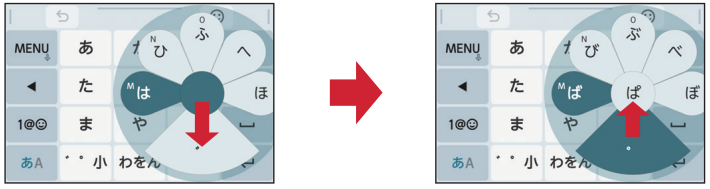
■ フリック入力
入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。
- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後゛゜小を目的の文字の方向にフリックします。

■ ケータイ入力
入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。
- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後゛゜小を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後゛゜小を1回または2回タップします。

◆ 入力方法の切り替え

1 文字入力中にナビゲーションバー(→P55)の🌐

2 入力方法を選択

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 [画面キーボード]

画面キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Gboard]／[Super ATOK ULTIAS]／[Google 音声入力]

4 各項目を設定

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[システム]→[キーボード]→[画面キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

ULTIASオススメ機能：テーマの選択やショートカットの割り当て、推測候補に最新のキーワードを表示するATOK キーワード Expressなど、快適・便利に使うためのオススメ機能です。

表示・デザイン：テーマや表示サイズなどのデザインを設定します。

・［フローティングキーボード］の［横画面］を有効に設定しても、全画面表示のときはフローティングキーボードが無効になる場合があります。

文字入力方式／動作：使用するキーボードや入力方式、上書き手書き入力の切り替えなどを設定します。

・［自動全画面化（横画面）］を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

推測変換の動作：変換候補の表示などについて設定します。

・アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

操作音・バイブ：キー操作時の音とバイブレーションを設定します。

ユーザーデータ：ユーザー辞書の登録や設定のエクスポート／インポートなどを行います。

・［設定の初期化］を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

アプリについて：オープンソースライセンスやSuper ATOK ULTIASのバージョンを表示します。

◆音声入力

音声入力に切り替えて、音声で文字を入力できます。

1 キーボード上部の左端にある MENU（メニュー）をロングタッチ

音声入力に切り替わります。

2 「なんでも話してみてください」と表示されたら、送話口／マイクに向かって入力する内容を話す

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

・アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。

・すべてを選択するには、［すべて選択］をタップします。

・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

・Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから［リンクテキストをコピー］などの操作ができます。

2 ［コピー］／［切り取り］

✓お知らせ

・テキストをロングタッチし、［共有］をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。

・表示中のテキストによっては、本機能を利用できない場合や、表示されるメニューが異なる場合があります。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置をロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

- 貼り付け位置にテキストが入力されている場合は、貼り付ける位置をタップ→カーソルのつまみをタップ→［貼り付け］をタップします。

画面表示／アイコン

◆ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーには、画面を操作するためのアイコンが表示されます。



◀ バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

● ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P63

ロングタッチ：かこって検索の起動

■ 履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P60

✓お知らせ

- ナビゲーションバーの動作を「ジェスチャーナビゲーション」に切り替えることもできます。→P134
- かこって検索は、画面上の情報をドラッグして丸で囲んだり、ハイライト表示したりして検索できる検索機能です。詳しくは、「かこって検索」を検索して Google のヘルプなどをご覧ください。

◆ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

: 新着 Gmail→P88
: 新着ドコモメール→P82
: 新着＋メッセージ→P82
: 新着メッセージ→P88
: Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能→P119
: 不在着信→P77
: 伝言メモあり→P78
: 留守番電話サービスの伝言メッセージ
／: データのアップロード／ダウンロード
: アラームの鳴動中／スヌーズ中／設定時刻2時間以内→P110
: ソフトウェアアップデート→P172
: 位置提供設定ON→P147
: おまかせロック設定中
: 内部ストレージの空き容量低下
: エラー／警告メッセージあり
: 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

: 電波状態（4段階表示）
- 2つのSIMを同時に利用している場合、電波状態表示がそれぞれのSIMに対して表示されます。上側がSIMスロット1、下側がSIMスロット2に関する表示です。設定により左側がSIMスロット1、右側がSIMスロット2に関する表示になる場合があります。

: 圏外
: 音声サービスのみが利用できないまたは利用準備中の状態
: 国際ローミング中
5G／5G+／4G+／3G／G: 5G／4G（LTE）／3G／GSM使用可能※
- 通信中は(アップロード時)(ダウンロード時）が表示されます。
- 5G高速・大容量通信中は「5G+」が表示されます。
- 日本国内では、3G／GSMはご使用いただけません。

※ 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。
: 機内モード設定中→P119
: Wi-Fi接続中（4段階表示）→P119
- 数字は、接続中のWi-Fi規格を表しています。接続中のWi-Fiネットワークによっては数字が表示されない場合があります。

: インターネット未接続のWi-Fiネットワークに接続中→P120
: Wi-Fiテザリングが有効→P125
: Bluetooth機器接続中→P155
: 本端末におまかせロックを設定中
: スピーカーフォンに切り替えて通話中→P76
: マイクを切って通話中→P76
: マナーモードをバイブレーションに設定中に、［バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示］をON→P131

: マナーモードをミュートに設定中→P131
: アラーム設定中→P110
: GPS測位中→P107
: 電池残量0～20%
: 電池残量21～100%※
※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
: 充電中→P39
: VPN接続→P126
あ: かな入力モード→P50
A: 英字入力モード→P50
1: 数字入力モード→P50
: 手書き入力モード→P50
: 数字／記号／顔文字／絵文字、定型文入力→P50
: 表示しきれない通知あり

◆ 通知パネル

通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

1 ステータスバーを下方向にスワイプ



① クイック設定

- クイック設定の一部が表示されます。→P58
- クイック設定をタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
- クイック設定を下方向にスワイプすると、表示されていないクイック設定を表示することができます。→P58

② 通知

- 通知をタップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりすることができます。
- 通知をロングタッチすると、通知設定をすることができます。
- 通知を左右にスワイプすると、通知を削除することができます。

③ **管理／履歴**
［管理］をタップすると通知の設定画面が表示され、通知の設定を変更できます。→P129
- 通知履歴がONに設定されているときは、［履歴］が表示されて、通知履歴を表示できます。

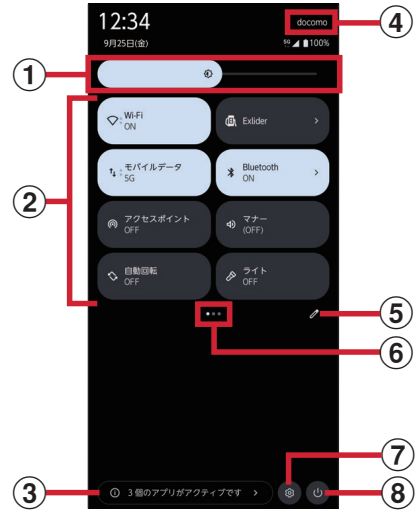
④ **すべて消去**
通知をすべて削除して通知パネルを閉じることができます。
通知の内容によっては削除されない場合や［すべて消去］が表示されない場合があります。

✓お知らせ
- 通知パネルを閉じるには、通知パネルを上方向にスワイプ、または◀(バックアイコン）をタップします。
- 不在着信の通知の下に表示される［コールバック］［メッセージ］をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。

◆クイック設定

クイック設定をタップして、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。

1 2本指でステータスバーを下方向にスワイプ



① **画面の明るさのレベル**
スライダーをスライドして明るさを調整できます。

② **クイック設定**
クイック設定をタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
クイック設定によっては、ロングタッチすると対応する設定メニューが表示されます。
- Wi-Fi：→P119
- Exlider：→P114
- モバイルデータ：→P122
- Bluetooth：→P155
- アクセスポイント：→P125
- マナー：マナーモードを設定／解除します。
- 自動回転：→P132
- ライト：ライトをON／OFFにします。

- 伝言メモ：→P78
- ダイレクト給電：→P135
- 機内モード：→P119
- ナイトディスプレイ：→P132
- Dolby Atmos：Dolby AtmosをON／OFFにします。
- モード：→P131
- ウォレット：店舗でのお支払いや交通機関の利用も、ポイントカードでのショッピングも、航空機への搭乗も、すべてスマートフォンだけで行うことができます。
- Quick Share：→P127
- メモリクリーナー：→P115
- 画面録画：本端末の画面を録画します。
- キャスト：→P127
- ダークモード：→P132
- デバイス コントロール※：本端末に接続されているスマートホームデバイス（市販品）などをコントロールします。
- QRコードスキャナ：QRコードを読み取ります。
- 位置情報：→P108
- セキュリティとプライバシー：セキュリティとプライバシーに関する設定をします。

※ 本端末に対応するアプリをインストールすると選択できます。

③ 実行中のアプリ
バックグラウンドで実行中のアプリを確認できます。

④ 通信事業者

⑤ 編集
クイック設定をロングタッチしたままドラッグして、削除や追加をすることができます。編集画面で⋮→［リセット］をタップすると、編集内容をリセットできます。

⑥ インジケーター
クイック設定のページ枚数と現在表示位置を示します。

⑦ 設定
設定メニューを表示することができます。→P113

⑧ 電源ボタンメニュー
電源を切る、再起動、緊急通報などの操作ができます。→P32

✓お知らせ

- クイック設定を閉じるには、クイック設定を上方向にスワイプ、または◀(バックアイコン）をタップします。

◆スライドインランチャーの使いかた

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーを呼び出すことができます。

- スライドインランチャーの設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P115

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて､スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- スライドイン機能をONにすると、画面の右上のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されます。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される⚙の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

✓お知らせ

- スライドスポットをロングタッチして、画面右端（スライドスポットが左側の場合、画面左端）に沿って上下にスライドすると、スライドスポットの位置を変更できます。

タスク管理

◯(ホームアイコン）をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドでアプリが起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 □(履歴アイコン)

最近使ったアプリが表示されます。

- 画面を左右にフリックして、表示したいアプリのサムネイルをタップすると、アプリを切り替えることができます。
- サムネイルを上にフリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには、［すべてクリア］をタップします。
- をタップすると、サムネイルが表示されているアプリのスクリーンショットを保存します。→P49
- をタップすると、サムネイルが表示されているアプリを固定するアプリピン止めの設定画面が表示され、［使う］をタップすると、アプリが固定されます。
  - 電源キーを押すとアプリの固定が解除されます。なお、［解除時に認証を求める］を設定している場合は、電源キーを押した後に認証操作を行ってください。

分割画面

画面を2分割して、それぞれの画面で異なる2つのアプリを同時に操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1 □(履歴アイコン)

最近使ったアプリが表示されます。

2 表示するアプリのアイコンをタップ→[分割画面]

3 画面下側で表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、○(ホームアイコン)をタップして表示するアプリを起動し、手順1から操作し直してください。

✓お知らせ

- 分割画面は、縦画面表示では上下、横画面表示では左右に分割して表示されます。
- 画面中央の▬を画面上部または下部（横画面表示の場合は左端または右端）までドラッグすると、分割画面を終了できます。

ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた

○(ホームアイコン）をタップして表示される画面（ホーム画面）を変更します。本端末には「ドコモホーム（docomo LIVE UX)」「arrowsホーム」「シンプルホーム」の3種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ホーム画面とロック画面]

2 [ホーム画面]→[ホーム画面切替]→切り替えるホームアプリを選択

✓お知らせ

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えるとホーム画面やロック画面の壁紙が変更される場合があります。
- 「arrowsホーム」または「シンプルホーム」のホーム画面で右にフリックすることで、ホームの一番左側に今日の天気や歩数、本端末に役立つ情報が表示されます。→P71

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で⊞→⋮→［ヘルプ］を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



① ウィジェット
- ウィジェット（Google 検索）を起動できます。

② マチキャラ
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

③ アプリアイコンショートカット
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。アプリによっては、表示されたアイコンをロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

④ インジケーター
- ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。

※画面をフリックするときのみ表示されます。

⑤ ドック
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑥ アプリ一覧ボタン
- すべてのアプリを表示します。アプリを検索できます。

⑦ カスタマイズエリア
- アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑧ フォルダ
- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

⑨ SmartNews for docomo
- SmartNews for docomoを表示します。→P69

ホーム画面の管理

◆アプリアイコンなどの移動

1 ホーム画面で移動するアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ
- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

◆アプリアイコンを追加

1 ホーム画面で→ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ

2 [ホーム画面に追加]
- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。
- 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

◆アプリアイコンをホーム画面から削除

1 ホーム画面で削除するアイコンをロングタッチ

2 画面上部の[削除]までドラッグまたは[ホーム画面から消す]をタップ
- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

◆ウィジェットなどの削除

1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ

2 画面上部の[削除]までドラッグ

◆アプリのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。

2 画面上部の[アンインストール]までドラッグまたは[アンインストール]をタップ→[OK]
- アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール]は表示されません。
- アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

◆フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力
- キーボードに表示される［確定］をタップします。

◆ホーム画面の設定

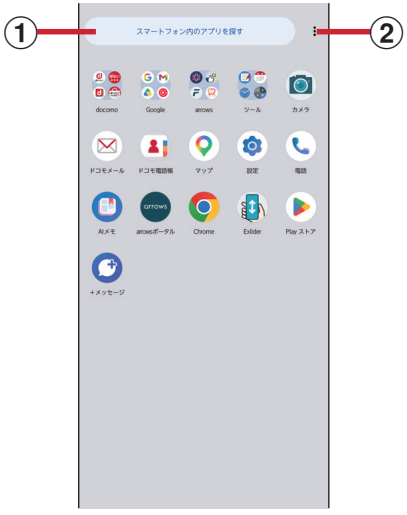
1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 項目を選択

通知ドット：アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON／OFFができます。
ホーム画面にアプリのアイコンを追加：新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧のみに表示するか選択できます。
※ デフォルトではインストールしたアプリはアプリ一覧の最後に表示されます。
ホーム設定アイコン：ホーム画面上ののON／OFFができます。
壁紙設定：ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
マチキャラ設定：マチキャラのON／OFFや、キャラ変更等マチキャラに関する設定ができます。
my daiz NOW表示設定：ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。
上スワイプ操作設定：上フリック起動アプリのON／OFFやアプリの設定ができます。
ホームの使い方：ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
ヘルプ：ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面でをタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並べ替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。



① アプリ検索バー
タップすると文字入力でアプリを検索することができます。
② アプリ一覧設定
⋮→［アプリ一覧設定］をタップすると、アプリ一覧画面のすべてのアプリの並び替え方法を変更できます。手動またはソート（つかった順、アプリ名順、インストール順）を選択できます。

◆アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

インストールされているアプリは次のとおりです。

＋メッセージ：携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→P82

AIメモ：arrows AI搭載の記憶支援ツールです。さまざまなコンテンツを保存し、後で振り返ったり検索したりできます。

Amazon ショッピング：Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。

arrows AI：簡単な文章を入力するだけで本端末内の設定を検索することができます。さらに、ディスプレイの明るさを変えたり、ライトのON／OFFを切り替えたり、自律神経パワーの測定を始めることなどができます。

arrows passport：ID（アカウント）やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。→P116

arrowsポータル：FCNT製スマートフォンをお使いの方のための会員サービスです。サポート情報、使い方をアップデートするコンテンツをお届けします。La Member's会員サービスへ登録・ログインいただくと、FCNTの独自ポイント「La Point」を貯められるほか、お得なキャンペーンにご参加いただけます。→P104

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P90

dcard：dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。

Disney DX：Disney DX（ディズニー DX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。
ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。

Dolby Atmos：Dolby Atmosの設定を行います。

d払い：ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、お買い物をすることができます。

dフォト：スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。

dポイント：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

dポイントマーケット※：dポイントマーケットは、いつもの買物がよりおトクになるネットショッピングサイトです。
dポイントマーケットを経由してお買物をするだけで、いつものショップでもらえるポイントにプラスしてdポイントが必ずもらえます。

※ ホーム画面やアプリ一覧画面では「マーケット」と表示されます。

dメニュー：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。→P100

Exlider：Exliderの使い方の説明と操作体験ができます。

Facebook：Facebookは、人とのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。

FASTメモ：すばやくメモ（テキスト・音声）や写真をとることができるアプリです。→P107

Files：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P153
Gemini：Google Gemini と会話することでアプリの操作をしたり、知識や情報を得ることができます。
Gmail：Google や一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P88
Google：Webサイトを検索します。→P112
Google TV：映画などを購入またはレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。
iDアプリ：ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。→P104
Kindle：Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
Meet：ビデオ通話ができます。
my daiz：出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに対話で応えてくれるサービスです。
あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。
Play ストア：Google Play を利用できます。→P100
Smart Connect：デバイスをパソコンに接続し、モバイルアプリをストリームしたり、パソコン上でファイルや通知を共有したりできます。
電話をウェブカメラとして使用し、鮮明なビデオ通話ができます。
SmartNews for docomo：世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。→P69
YouTube：YouTube™ の動画を再生できます。
YT Music：YouTube Music の音楽を再生します。

洗い方説明：本端末の洗い方を確認できるアプリです。
あんしんセキュリティ：無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。
ウォレット：店舗でのお支払いや交通機関の利用も、ポイントカードでのショッピングも、航空機への搭乗も、すべてスマートフォンだけで行うことができます。
おサイフケータイ：複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→P101
おすすめアプリ：おすすめアプリの設定ができます。
オススメ機能：シンプルモードやプライバシーモード、迷惑電話対策機能などの設定ができます。→P114
カメラ：静止画や動画を撮影します。→P94
カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。
かんたん電話：電話の利用や通話の設定ができます。
かんたん電話帳：電話帳を利用できます。
ゲームゾーン：快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー／ギャラリー機能が利用できます。
災害用キット：「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。→P89
スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。→P109
スマホ故障診断：「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな？と思ったときに、いつでもどこでもスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。
設定：本端末の各種設定を行います。→P113

通話設定：通話の設定ができます。
データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で管理できるサービスです。
電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P112
電話：電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→P72
時計：アラーム、世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間が利用できます。→P110
ドコモ電話帳：ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P79
ドコモメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P82
ドライブ：本端末に保存されている写真や動画などをGoogle ドライブにアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。
ニュース：無料で新聞・雑誌・エンタメニュースが読めて、クーポンも充実の人気ニュースアプリです。
フォト：写真の閲覧や加工ができます。また Google のクラウドに保存することもできます。→P99
マップ：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P109
メッセージ：Google のメッセージアプリです。→P88
メモ：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。
らくらくコミュニティ：共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流でき、楽しみながらポイントも貯まる安心・安全なSNSです。→P105
ララしあコネクト：歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧などのデータを元に、健康管理をサポートする総合アプリです。→P105

✓お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時の状態でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。アンインストールしても Play ストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P100
- プリインアプリによっては、初回起動時に Play ストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆アプリー覧画面の管理

❖アプリアイコンなどの移動

1 アプリー覧画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

※「ソートメニューで並び替え」を選択している場合は、つかった順、アプリ名順、インストール順に自動で並び替えられます。

❖フォルダ名の変更

1 アプリー覧画面でフォルダを選択

2 フォルダ名をタップ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される［確定］をタップします。

SmartNews for docomo

SmartNews for docomoは、世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。表示チャンネルやPush通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

◆記事の見かた

1 ホーム画面で

- 初期画面が表示された場合は、画面に従って操作し、規約に同意することで利用できます。
- チャンネル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や運行、グルメなどの生活に便利な情報がチェックできます。

◆ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

◆ 表示設定

1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→[ホーム設定]

2 [my daiz NOW表示設定]のON／OFFを設定

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で→⋮

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

arrows today

arrows todayは、今日の天気や歩数、本端末に役立つスマホ活用情報やおすすめアプリ、サービスなどを確認できるアプリです。見るたびに更新される情報を、自分の好みに合わせてカスタマイズすることもできます。

- ホームアプリが「arrowsホーム」または「シンプルホーム」の場合にご利用になれます。→P62

◆ 情報の見かた

1 「arrowsホーム」または「シンプルホーム」のホーム画面で右にフリック

- ［並び替え］をタップすると、各情報カードの並び替えまたは表示／非表示を設定することができます。

2 見たい情報カードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。

電話／電話帳

電話をかける

1 ホーム画面で(電話)→(キーパッド)

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は(バックスペース)をタップします。
- 電話番号を入力すると、画面上部の項目から連絡先の作成・追加やメッセージの送信ができます。

3 (発信)

- 通話を開始すると、通話中画面右上に数秒間(アプリはマイクを使用しています)が表示されます。

4 通話が終了したら(通話を終了)

✓お知らせ

- 2つのSIMを同時に利用している場合、(メニュー)→［設定］→［通話アカウント］→［音声通話用SIMカード］を選択すると、発信時に使用するSIMを選択できます。
- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - 「優先ネットワークの種類」※が「5G／4G／3G／GSM」「4G／3G／GSM」のいずれかに設定されていること

  ※ ホーム画面で(アプリ一覧)→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIMとモバイルネットワーク］→SIMを選択→［優先ネットワークの種類］で設定できます。
- VoLTE（HD+）は、通話の音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
  VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本端末にイヤホンを接続している場合、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合は、近接センサーを停止します。そのため、近接センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口／スピーカーを当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- 電源キーを長押し、または電源キーと音量キーの上を同時に押す→［緊急通報］をタップしても緊急通報をかけることができます。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではnanoSIMカードとeSIMのどちらも利用できない状態や、［SIMとモバイルネットワーク］（→P123）の［この SIM を使用する］がOFFになっている場合、またはPINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急通報番号が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- 着信のブロック（→P79）の設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信のブロックの設定は無効に変更されます。
- 通信事業者によってはVoLTE緊急通報が利用できない場合があります。その場合は、［SIMとモバイルネットワーク］（→P123）の［4G 回線による通話］をOFFにしてください。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- 本製品は、W-CDMAの緊急通報機能はありません。

◆通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面で(電話)→(メニュー)→[設定]

2 [通話アカウント]→SIMを選択

3 [その他の設定]→[発信者番号]→項目を選択

◆追加番号を入力して発信

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめ電話番号と追加の番号を一度に入力して発信することができます。

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P76

❖2秒の間を追加する

電話がつながった後、2秒たってから追加した番号を自動で送信します。

1 ホーム画面で(電話)→(キーパッド)→電話番号を入力

2 (メニュー)→[2秒の間を追加]

「,」が追加されます。

3 追加番号を入力→(発信)

❖待機を追加する

電話がつながった後、待機してから追加した番号を送信します。

1 ホーム画面で(電話)→(キーパッド)→電話番号を入力

2 (メニュー)→[待機を追加]

「;」が追加されます。

3 追加番号を入力→(発信)→通話開始後に[はい]

◆国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で(電話)→(キーパッド)

2 「0」をロングタッチ→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 「0」をロングタッチすると、「+」が表示されます。

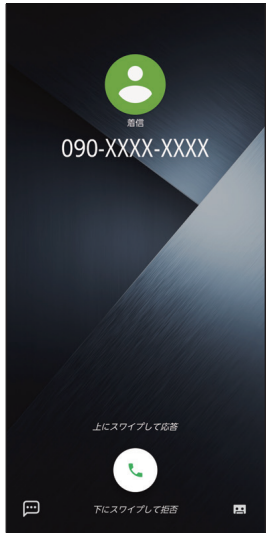
3 (発信)

電話を受ける

◆音声電話を受ける

〈例〉スリープモード中に電話がかかってきた場合

1 電話がかかってくる



着信画面(全画面)

- 着信音、バイブレーションの動作を止めるには、電源キーまたは音量キーを押します。

2 (応答ボタン)を上方向にスワイプ

- 通話を開始すると、通話中画面右上に数秒間(アプリはマイクを使用しています)が表示されます。

着信拒否：(応答ボタン)を下方向にスワイプ
伝言メモ録音：(伝言メモ)を上にスワイプ

- 「通話設定」の「伝言メモ」から、伝言メモの設定や再生ができます。→P78

クイック返信：(クイック返信)を上にスワイプ→送信するメッセージをタップ

3 通話が終了したら(通話を終了)

✓お知らせ

- 2つのSIMを同時に利用している場合、どちらのSIMかをSIMの名前で表示します。
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーに通知アイコン(→P56)が表示されます。通知パネル(→P57)を開いて不在着信を確認したり、[コールバック][メッセージ]をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。

◆操作中に着信を受ける

ホーム画面表示中やアプリ起動中に着信すると、画面上部に通知が表示されます。



- 通知の上部をタップすると、着信画面（全画面）が表示できます。
- 応答して通話を終了すると、通話前の画面に戻ります。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。



通話中画面

① 連絡先に設定された画像
② 相手の名前／電話番号
③ 通話時間
④ 通話を追加※
⑤ ミュート
ONにすると自分の声が相手に聞こえなくなります。
⑥ スピーカー
相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
Bluetooth機器を接続している場合は、音声の出力先を切り替えることができます。

⑦ **通話を終了**
⑧ **保留**※
通話の保留／保留解除ができます。
⑨ **キーパッド**
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
※ ご利用いただくには、キャッチホン契約が必要です。

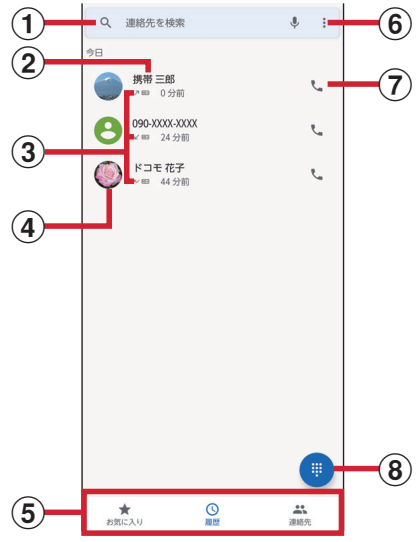
✓お知らせ

- 2つのSIMを同時に利用している場合、どちらのSIMかをSIMの名前で表示します。
- 発信中／通話中に音量キーを押すと、通話音量の調節をすることができます。

発着信履歴

電話の発着信履歴などを確認できます。

1 ホーム画面で(電話)→[履歴]



通話履歴画面

① **連絡先を検索**
② **名前／電話番号**
タップすると「連絡先を追加」や「メッセージ」などの項目が表示されます。
ロングタッチすると電話番号のコピーや着信拒否設定などができます。
③ **通話履歴**
発信、着信、不在着信の種別や発信／着信した時間などが表示されます。

④ **連絡先に設定された画像**
タップすると連絡先のプロフィール画面が表示されます。
⑤ **タブ**
⑥ **メニュー**
⑦ **電話発信**
⑧ **キーパッド**

◆発着信履歴の削除

1 通話履歴画面で履歴をロングタッチ→[削除]

- すべての履歴を削除するには、⋮（メニュー）→［通話履歴］→⋮（メニュー）→［通話履歴を消去］→［OK］をタップします。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[arrows]→[通話設定]→[伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。
- 内部ストレージの空き容量の状態により、伝言メモの録音ができなくなる場合があります。ストレージの管理については、「ストレージ」をご覧ください。→P134

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→▶（再生）をタップすると伝言が再生されます。
- 伝言メモをロングタッチ→［1件削除］→［はい］をタップすると伝言が1件削除されます。伝言メモがない旨のメッセージが表示された場合は［OK］をタップしてください。
- 伝言メモのリストで⋮（その他のオプション）→［全件削除］→［はい］をタップすると伝言が全件削除されます。

着信呼出設定：着信呼出時間を設定します。

✓お知らせ
- かかってきた電話に伝言メモで対応する場合は、相手の方へ「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に、60秒以内でメッセージをお話しください。」というメッセージが流れます。

通話設定

発着信時の設定や着信のブロックなど、さまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で(電話)→⋮(メニュー)→[設定]

2 各項目を設定

表示オプション：テーマを変更します。
音とバイブレーション：通話音量や着信音などの音に関する設定をします。→P130
クイック返信：クイック返信（→P75）に使用するメッセージの確認や編集をします。
通話アカウント：表示されたSIMをタップして、ドコモオフィスリンク設定、着信転送、その他の設定を行います。

- ドコモオフィスリンク設定※1：オフィスリンクの保留転送、プレフィックスなどに関する設定を行います。
- 着信転送※2：かかってきた電話を指定した別の電話番号へ転送するように設定します。
- その他の設定：その他の発着信に関する設定を行います。
  - 発信者番号：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示するかを設定します。
  - 通話中着信※3：通話中に別の着信があった場合、通話を保留にしてかかってきた電話に応答するかを設定します。

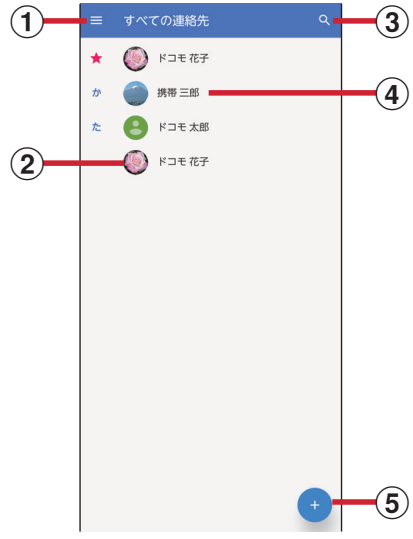
着信のブロック：ブロックする着信やSMSを設定します。
ボイスメール：ボイスメールの設定をします。
国際ダイヤルアシスト：設定方法→P165
電話アプリについて：バージョンやオープンソースライセンスを確認します。

※1 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。
※2 ご利用いただくには、転送でんわサービス契約が必要です。
※3 ご利用いただくには、キャッチホン契約が必要です。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[ドコモ電話帳]



連絡先一覧画面

① メニュー
② 連絡先に設定された画像
③ 検索
連絡先を検索します。
④ 名前
タップすると連絡先のプロフィール画面が表示されます。
⑤ 連絡先の登録

✓お知らせ

- クラウド機能の利用に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

◆連絡先の登録

連絡先を登録します。

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[ドコモ電話帳]

2 (連絡先の登録)→必要な項目を入力

- [その他の項目]をタップすると項目が追加されます。

3 [保存]

✓お知らせ

- 「電話」の通話履歴画面から連絡先を登録することもできます。→P77
- 連絡先一覧画面で、名前をタップ→(設定)→[共有]と操作すると、表示されたアプリを利用して連絡先を共有できます。共有先に[ドライブ]を選択すると、連絡先をファイルで保存できます。保存した連絡先ファイル(.vcf)は、「ドライブ」アプリから選択してインポートすると、連絡先を復元できます。

◆連絡先の編集

登録済みの連絡先の内容を編集します。

1 連絡先一覧画面で編集したい連絡先を選択

- ☆(お気に入り)をタップすると連絡先がお気に入りに登録されます。

2 (編集)→必要な項目を編集

- [その他の項目]をタップすると項目が追加されます。

3 [保存]

◆連絡先の削除

登録済みの連絡先を削除します。

1 連絡先一覧画面で削除したい連絡先を選択

2 (設定)→[削除]→[削除]

✓お知らせ

- シンプルホームの短縮ダイヤルに連絡先を登録している場合、電話帳から連絡先を削除しても、シンプルホームの短縮ダイヤルは自動では削除されません。次の手順で削除してください。
  短縮ダイヤルアイコンをロングタッチ→[ホーム配置をやめる]→[OK]

◆連絡先をラベル（グループ）ごとに表示

連絡先を登録したラベルごとに表示します。

1 連絡先一覧画面で(メニュー)→ラベルを選択

❖ラベル（グループ）の新規作成

連絡先を登録するラベルを作成します。

1 連絡先一覧画面で(メニュー)→[ラベルを作成]→アカウントを選択

2 ラベル名を入力→[OK]

ラベルが作成されます。

- ［連絡先を追加］をタップすると作成したラベルに連絡先を追加できます。

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[設定]→[パスワード、パスキー、アカウント]→[マイプロフィール]

- 確認画面やアプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ドコモ電話帳では、(編集）をタップすると名前やメールアドレスなどのマイプロフィールを編集できます。
- ドコモ電話帳では、(設定）→［共有］をタップすると共有の操作ができます。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→(ドコモメール)

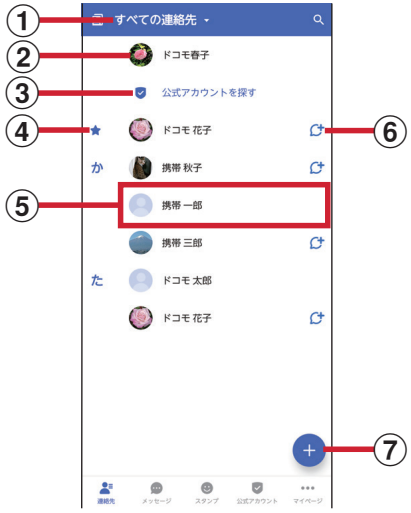
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で(アプリ一覧）→［＋メッセージ］→［マイページ］→［ヘルプ］→［使い方ガイド］を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[+メッセージ]

- 画面下部のメニューより［連絡先］をタップすると連絡先一覧画面が、［メッセージ］をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面

① 切替タブ
タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（(＋メッセージステータス）のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。

② マイプロフィール
お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

③ 公式アカウントを探す
タップすると公式アカウントストアが表示されます。

④ お気に入りの連絡先
お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、［公式アカウントを探す］の下に表示されます。

⑤ 連絡先
タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

⑥ (＋メッセージステータス)
＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

⑦ (連絡先を追加)
タップすることで連絡先を追加できます。

⑧ プロフィール画像
相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

⑨ メッセージ
タップするとメッセージ画面を表示することができます。

⑩ 公式アカウント
企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（▢）で表示されます。

⑪ (チェックマーク)
ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

⑫ (その他のオプション)
サブメニューを表示します。

- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。

⑬ ＋(新しいメッセージを開始)
新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

◆メッセージを送信する

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→＋(新しいメッセージを開始)→[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]

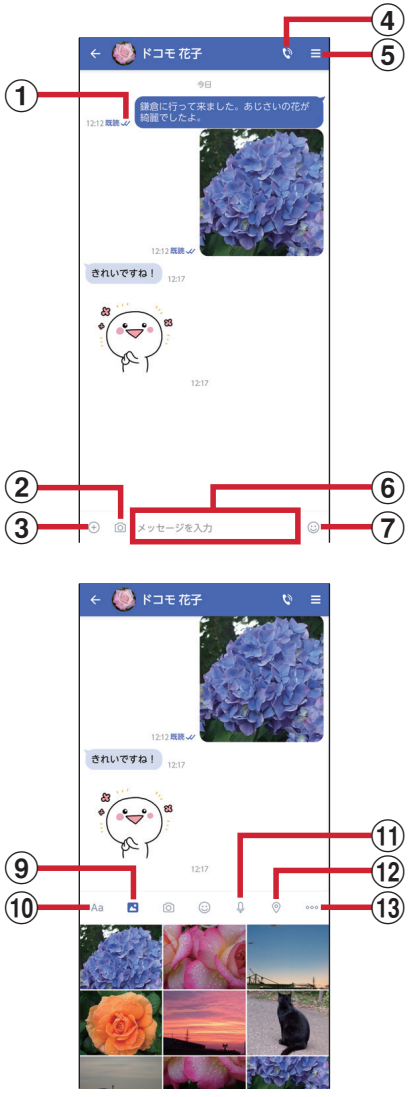
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者（連絡先に(＋メッセージステータス）マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力]をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後[OK]をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップして文字を入力→▶(送信)

- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。





① 配信状態
メッセージの配信状態を表示します。
既読 ✓✓(メッセージの状態 表示)：相手がメッセージを閲覧済み

・送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
✓（メッセージの状態 配信済み）：相手の端末でメッセージを受信済み
（アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
✕（メッセージの状態 送信失敗）：メッセージ送信に失敗

② **（写真を撮る）**
タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

③ **（プラスマーク）**
写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
・シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

④ **（通話を開始）**
電話アプリが起動し、発信できます。

⑤ **（メッセージ詳細）**
サブメニューを表示します。
・連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

⑥ **メッセージ入力欄**
メッセージを入力することができます。

⑦ **（スタンプ）**
スタンプ選択画面への切り替えができます。

⑧ **（送信）**
入力したメッセージを送信します。

⑨ **（ギャラリー）**
画像選択画面への切り替えができます。

⑩ Aa**（テキスト入力切り替え）**
テキスト入力画面への切り替えができます。

⑪ **（ボイスメッセージ）**
音声録音画面への切り替えができます。

⑫ **（位置情報）**
地図画面への切り替えができます。

⑬ **（マイページ）**
連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

✓お知らせ

ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

・海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
・宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
・宛先に「＃」または「*」がある場合、SMSを送信できません。
・宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

＋メッセージについてのお知らせ

・海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。
また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。

- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

◆メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→読みたいメッセージのスレッドを選択

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」をご覧ください。→P84

◆メッセージを転送する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択

3 転送するメッセージをロングタッチ→(転送)

4 宛先を選択し、メッセージを入力→(送信)

◆メッセージを削除する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→スレッドを選択

3 削除するメッセージをロングタッチ→(削除)→[削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
  なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時等、(削除)が表示されない場合があります。その場合は、(その他のオプション)→［削除］→［削除］の順に操作してください。

◆スレッドを削除する

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]→削除するスレッドをロングタッチ

3 (削除)→[削除]

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

◆＋メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[マイページ]→[設定]

3 各項目を設定

メッセージ：メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント：公式アカウントの通知音設定ができます。
写真や動画：送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景：テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知：通知に関する設定ができます。
プライバシー：パスコードやブロックなどが設定できます。
その他：ユーザー情報引き継ぎの設定や＋メッセージサービスの初期化などができます。

◆公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[＋メッセージ]

2 画面下部のメニューより[公式アカウント]

3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタップ

4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」にチェックを付ける

5 [利用する]

◆利用するSMSアプリを変更する

利用するSMSアプリを切り替えます。
お買い上げ時は、次のSMSアプリがプリインストールされています。

- ＋メッセージ→P82
- メッセージ→P88

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[設定]→[アプリ]

2 [デフォルトのアプリ]→[SMS アプリ]

3 [＋メッセージ]／[メッセージ]

✓お知らせ

- 切り替え後はSMSでの送受信（有料）になる場合がありますのでご注意ください。
- 利用するSMSアプリの変更の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/usage/#p14

メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、SMSを送受信できるGoogle のメッセージアプリです。

◆ メッセージの送信

1 ホーム画面で(メッセージ)

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [チャットを開始]

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[宛先]欄に電話番号を直接入力してください。
- [グループを作成]をタップすると、複数人にメッセージを送ることができます。

4 メッセージを入力→(SMSを送信)／(暗号化されたメッセージを送信)

◆ メッセージの表示

1 ホーム画面で(メッセージ)

2 読みたいメッセージを選択

Gmail

Google のメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Google アカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmail の表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

- Gmail の詳細については、(ナビゲーションドロワーを開く)をタップまたは画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）

◆緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

❖受信したエリアメールを後で確認する

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[ツール]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール]

2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

❖エリアメールを削除する

- 削除したエリアメールは元には戻せません。

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[ツール]→[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[エリアメール]

2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ

3 [削除]→[削除]

ウェブブラウザ

ブラウザアプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。
- ここでは主に「Chrome」の操作方法を説明します。
- 他のブラウザに切り替えることもできます。→P90

◆ ブラウザの変更

デフォルトのブラウザを変更することができます。
- ブラウザアプリのインストールについては「アプリのインストール」をご参照ください。→P100

1 ホーム画面で(アプリ一覧)→[設定]→[アプリ]

2 [デフォルトのアプリ]→[ブラウザアプリ]→ブラウザアプリを選択

デフォルトのブラウザが変更されます。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で(Chrome)

ホームページに設定しているWebページが表示されます。
- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。
- Webページを表示中の画面では、以下の操作が行えます。
  - 本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示の切り替え→P49
  - ピンチアウト／ピンチイン（→P48）で、画面の拡大／縮小
  - スライド／パン（→P48）で、画面の見たい部分の表示

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→①(XX個のタブを表示)※

※ 開いているタブの数によって数字が異なります。

2 ＋(新しいタブ)

新しいタブが開き、Webページが表示されます。
切り替え：表示するタブをタップ
閉じる：閉じるタブの×(XXXXタブを閉じます) ※
※ XXXXは任意の名称です。

✓お知らせ

- Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)→［新しいタブ］をタップしても新しいタブを開くことができます。

◆シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)

2 [新しいシークレット タブ]

3 アドレスバーにURLやキーワードを入力

シークレットタブでWebページが表示されます。

- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→1(XX個のタブを表示)※1→シークレットタブの×(XXXXタブを閉じます)※2をタップします。

※1 開いているタブの数によって数字が異なります。

※2 XXXXは任意の名称です。

✓お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)→☆(ブックマーク)

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークの右の⋮(XXXXのオプション)※をタップすると、編集や削除などができます。

※ XXXXは任意の名称です。

◆ Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクを新しいタブで開いたり、アドレスやテキストのコピーやファイルのダウンロードなどができます。

1 Webサイト表示中にリンクをロングタッチ

2 メニューから目的の操作を選択

✓お知らせ

- ダウンロードしたファイルは、「Files」アプリ（→P153）や、Webサイト表示中に⋮（Chrome の設定）→［ダウンロード］をタップして確認できます。

◆ Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択（ロングタッチ）→[画像をダウンロード]→画面の指示に従って保存

- ダウンロードした画像は、「フォト」アプリ（→P99）や、Webサイト表示中に⋮（Chrome の設定）→［ダウンロード］をタップして確認できます。

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタを利用して、表示しているWebページを印刷できます。

- あらかじめプリンタとの接続を設定してください。→P159

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮（Chrome の設定）→[共有...]→[印刷]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

◆ブラウザの設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮(Chrome の設定)→[設定]

2 各項目を設定

ログイン：Google アカウントで Chrome にログインし、端末間の同期を設定します。
Google のサービス：Google サービスを設定します。
検索エンジン：Webページを検索するときに使用する検索エンジンを設定します。
アドレスバー：アドレスバーの位置を設定します。
プライバシーとセキュリティ：安全性や利便性についての設定をします。
安全チェック：Chrome の保護機能の設定状況などを確認できます。
Google パスワード マネージャー：Webページに入力したパスワードを保存するかなどを設定します。
お支払い方法：お支払い方法について設定します。
住所やその他の情報：住所や電話番号などの情報を設定します。
自動入力サービス：パスワード、パスキー、住所、お支払い方法などを自動入力できるようにする自動入力サービスを設定します。
タブとタブグループ：タブに関する設定をします。
ホームページ：ホームページを設定します。
通知：新着通知の通知方法について設定します。
デザイン：ツールバーや背景のモードの設定をします。
ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
サイトの設定：CookieやJavaScriptなどサイトに関する設定をします。
言語：表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
ダウンロード：ダウンロード時の保存場所などを設定します。
Chrome について：アプリのバージョンなど、Chrome に関する情報を確認できます。

カメラ

カメラ

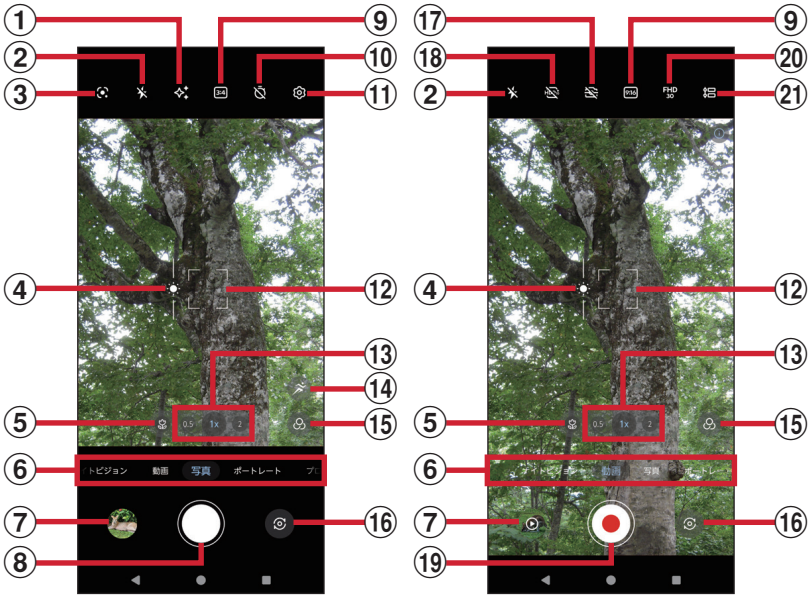
◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影画面の見かた



静止画(写真)撮影画面　　動画撮影画面

① パーソナルスタイル
- あなた好みのカラースタイルで撮影できます。

② フラッシュ／ライト
- フラッシュおよびライトの点灯方法を切り替えます。

③ Google レンズ™
- Google レンズを起動して、カメラを使用して情報を検索します。

④ 明るさ調節バー
- 撮影画面をタップすると表示されます。調節バーを上下にスライドして、明るさを調節できます。

⑤ マクロモード
- マクロカメラに切り替えて、レンズに近い被写体を撮影します。

⑥ 撮影モード
- 左右にフリックして、撮影モードを切り替えます。→P96

⑦ 直前に撮影した静止画／動画の確認
- 直前に撮影した静止画や動画を確認します。

⑧ シャッター
- 静止画を撮影します。
- ロングタッチすると、静止画を連写撮影することができます。

⑨ アスペクト比
- 静止画や動画の縦横比を設定します。

⑩ タイマー
- セルフタイマーの長さを設定します。

⑪ 設定
- カメラ設定を表示し、撮影に関する設定を行います。→P98

⑫ フォーカス枠
- 撮影画面の被写体をタップすると、フォーカス枠が表示され、フォーカスが合います。
- 撮影画面の被写体をロングタッチすると、露出とフォーカスがロックされます。再度タップすると、ロックが解除されます。
- 別の被写体にカメラを向けると、撮影画面の中心にフォーカスが戻ります。

⑬ ズーム倍率
- ズーム倍率を変更します。
- ズーム倍率のアイコンを左右にスライドするとズーム倍率を調整できます。また、撮影画面をピンチアウト／ピンチインしてズーム倍率を調整することもできます。

⑭ アクションショット
- 表情や動作の一瞬をとらえ、躍動感のある静止画を撮影するかを設定します。

⑮ **フィルタ**
- お好みのフィルタを設定します。

⑯ **カメラの切り替え**
- インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

⑰ **水平ロック／適応型手振れ補正の切り替え**
- 水平ロックでカメラの動きに関わらず被写体を水平に保ちながら動画を撮影するか、適応型手振れ補正で滑らかな動画を撮影するかを切り替えます。

⑱ **HDR10+**
- HDR10+形式での動画撮影をするかを設定します。

⑲ **撮影開始／停止**
- 動画の撮影を開始／停止します。

⑳ **解像度／フレームレート**
- 解像度とフレームレートを設定します。

㉑ **撮影設定を開く**

マイク：マイクのON／OFFを設定します。

設定：カメラ設定を表示し、撮影に関する設定を行います。→P98

✓お知らせ

- 確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 撮影モードや設定によって、撮影画面に表示される内容は異なります。
- カメラを起動すると、撮影画面右上に数秒間が表示されます。
- インカメラの撮影画面にが表示されている場合は、をタップして美肌、肌の明るさ、目の大きさなどの補正ができます。静止画の連写撮影には反映されません。
- 解像度／フレームレートを4K／60fpsに設定して長時間録画すると、端末の温度上昇により録画が早く停止する場合があります。

長時間録画する場合は、30fpsでの設定をおすすめします。

❖撮影モードの切り替え

1 ホーム画面で[カメラ]

2 撮影モードを左右にフリックして切り替える

■ ナイトビジョン

暗い場所で細部を鮮明に表示し、より正確な色で静止画を撮影します。

■ 動画

動画を撮影します。→P97

■ 写真

静止画を撮影します。→P97

■ ポートレート

背景をぼかした静止画を撮影します。
- アウトカメラでは、人物以外の被写体でも背景をぼかして撮影できます。インカメラでは、背景をぼかして撮影できるのは人物のみです。
- をタップして、背景ぼかしの強さのスライドバーを左右にスライドするとぼかしを調整できます。

■ プロ

フォーカス／ホワイトバランス／シャッタースピード／ISO感度／露出を手動で調整して静止画を撮影します。

■ 詳細

スキャン：ドキュメントをスキャンして、PDF形式およびJPEG形式で保存します。

パノラマ：シーン全体を広範囲に撮影します。
最大画素：最高解像度で、細部まで鮮明な静止画を撮影します。
フォトブース：一定間隔で4枚の静止画を連続撮影し、コラージュとして1セットで保存します。さらに、4枚それぞれの静止画も個別に保存されます。
グループショット：集合写真を撮影するときに、まばたきを補正して静止画を撮影します。
構図ガイド：背景を指定して、他の人に自分を撮影してもらうための機能です。
- 背景を撮影→背景に半透明のガイドを重ねた状態で、他の人に自分を撮影してもらいます。

スローモーション：スローモーションの動画を撮影します。
- 撮影したスローモーションの動画には音声は録音されません。

タイムラプス：時間が高速で進む映像を撮影します。花が開く瞬間や交通量の変化など、徐々に変化するシーンの撮影に適しています。撮影前に速度を設定します。
デュアル撮影動画：2つのカメラを同時に使用して動画を撮影します。
- をタップすると、撮影モードの項目を編集できます。設定をリセットするには、→［リセット］をタップしてください。

✓お知らせ
- ［写真］の撮影モードで音量キーの下を長押しすると［動画］の撮影モードに、［写真］以外の撮影モードで音量キーの下を長押しすると［写真］の撮影モードに切り替えができます。

◆静止画撮影

1 ホーム画面で［カメラ］

2 カメラを被写体に向けて撮影画面に表示
- 撮影画面の操作について→P95

3 または音量キー
シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- をロングタッチまたは音量キーの上を押し続けると、連写撮影をすることができます。

✓お知らせ
- アウトカメラでQRコード／バーコードを読み取ることができます。

◆動画撮影

1 ホーム画面で［カメラ］

2 撮影モードを右にフリックして［動画］に切り替える

3 カメラを被写体に向けて撮影画面に表示
- 撮影画面の操作について→P95

4 (開始)または音量キー
撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

5 ●(停止)または音量キー

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

録画の一時停止／再開：録画中に⏸(一時停止) ／ ▶(再開)

録画中の静止画撮影：録画中に📷

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

✓お知らせ

- 動画手振れ補正の効果により、録画中に表示されている画面と保存された動画の画角が異なります。

◆ カメラ設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 ⚙

- 動画撮影画面では、☰→［設定］をタップします。

❖写真の設定

■ インカメラの写真の解像度

インカメラで撮影する静止画の解像度を設定します。

■ オートマクロ

マクロ撮影するときに、自動的にマクロカメラに切り替えるかを設定します。

■ 透かし

撮影した静止画に、日付、時刻などを表示するかを設定します。

■ Google レンズ

アウトカメラの静止画（写真）撮影画面にGoogle レンズのアイコンを表示するかを設定します。

■ パーソナルスタイル

AIが学習した色の傾向に基づいて、お好みのカラースタイルを設定します。

- AIは、グルメ・ポートレート・風景などのカテゴリーごとに、編集された静止画から色の傾向を学習します。
- AIが学習した色の傾向はカテゴリーごとに反映されます。
- パーソナルスタイルをご利用いただくには、画像の読み込みについての同意が必要です。確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖ビデオ（動画）の設定

■ AI付きオーディオ

ズームした領域の音声を増幅して録音するかを設定します。

■ 効率的な動画

H.265／HEVCとして保存するかを設定します。

❖全般の設定

■ 自撮りを反転
インカメラで撮影した静止画や動画を、撮影画面に表示されたとおりに反転した状態で保存するかを設定します。

■ 撮影方法
インカメラに手のひらを見せたときや被写体が笑顔のときに、自動的に撮影するかなどの撮影方法を設定します。

■ 撮影アシスタント
グリッドや水平マーカーを表示するかを設定します。

■ 前回モードを保持
カメラを起動する際に、前回使用した撮影モードを保持するかを設定します。

■ 位置情報を保存
撮影した静止画や動画に位置情報を保存するかを設定します。

■ ストレージ※
撮影したデータの保存先を設定します。
※ microSDカードを取り付けているときに表示されます。

❖その他の設定

■ リセット
設定をリセットします。

■ バージョン情報
アプリのバージョンなどを確認します。

フォト

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

◆静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で[フォト]
画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選択
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小します。
- 動画は音量キーを押して音量を調節したり、画面をタップして表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

アプリ

dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。

1 ホーム画面で[dメニュー]

ブラウザアプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

※ ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。
https://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html

Play ストア

Play ストアを利用して Google Play のサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。

- Google Play を利用するには、本端末に Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、Play ストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Play の詳細については、Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］を操作してヘルプをご覧ください。

◆アプリのインストール

1 ホーム画面で[Play ストア]

Google Play 画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)

- 表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 有料アプリの購入、削除、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play 画面で画面右上の Google アカウントアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］を操作してヘルプをご覧ください。

✓お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様が Play ストアからインストールした Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- インストールしたユーザー補助アプリは、［ユーザー補助］から有効にすることができます。→P150

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

◆NFC／おサイフケータイの機能をONにする

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[NFC／おサイフケータイ]

2 [NFC／おサイフケータイ]をONにする

NFC／おサイフケータイの機能がONになります。

- NFC／おサイフケータイの機能をONにすると、おサイフケータイ対応サービスのすべてが利用できます。
- [NFCアイコン] をタップしてONにすると、ステータスバーにNFCアイコンが表示されます。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、「おサイフケータイ」アプリよりサービスを設定してください。

1 ホーム画面で→[ツール]→[おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのアプリまたはサイトから必要な設定を行います。

4 本端末背面のアウトカメラの右側横にあるマーク（モバイル非接触IC通信マーク）を読み取り機にかざす

✓お知らせ

- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定に関わらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P123、P136
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

◆非接触型決済

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

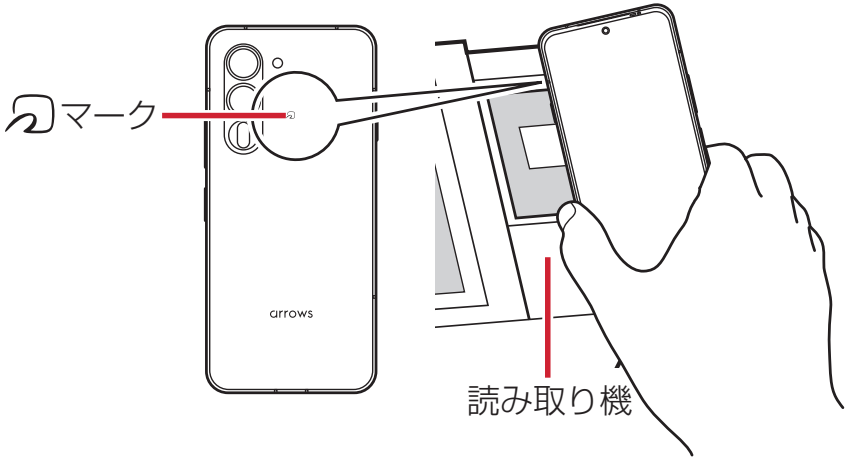
1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]

2 [NFC／おサイフケータイ]→[非接触型決済]

非接触型決済で使用するアプリ画面が表示されます。

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

画面消灯および画面ロック中に、おサイフケータイの機能を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMロックとは異なります。

1 ホーム画面で→[ツール]→[おサイフケータイ]

2 →[NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]をタップしてON／OFFを設定

◆ おサイフケータイ対応サービスのICカード内データを消去する

ご利用のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データを一括で消去します。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 [おサイフケータイ対応サービスのデータを消去]→[利用規則を確認しました]にチェックを付ける→[同意]

3 登録されているおサイフケータイ対応サービスを確認→[預け入れ]／[データを消去]

- 登録されているサービスにより表示される画面内容が異なります。
- [データを消去]が表示された場合は、[注意事項を確認し、理解しました]にチェックを付けてください。

4 「データ消去完了」の表示を確認→[終了]

✓お知らせ

- [預け入れ]が表示されるサービスは、おサイフケータイ対応サービス提供者のサーバへデータを退避後に、ICカード内からデータを削除します。
- [預け入れ]で退避したデータ以外はすべて削除され、元に戻すことはできません。
- ICカード内データを削除される際は、必要に応じてサービスの再利用方法などを事前におサイフケータイ対応サービス提供者へご確認ください。
- その他、注意事項などはドコモのホームページをご覧ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/osaifu/usage/

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。

- iDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用等については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（https://id-credit.com/）をご覧ください。

arrowsポータル（La Member's）

FCNT製スマートフォンをお使いの方のための会員サービスです。
お持ちのスマートフォンのサポート情報、使い方をアップデートするコンテンツをお届けします。会員登録いただくと、FCNTの独自ポイント「La Point（ラ・ポイント）」を貯められるほか、お得なキャンペーンにご参加いただけます。

- La Member's会員サービスへの登録は無料です。パケット通信料はお客様の負担となります。

1 ホーム画面で→[arrowsポータル]

2 利用規約に同意して[さっそく見てみる]

3 各ページを見る

- ページを移動するときは、画面下の各タブをタップします。

らくらくコミュニティ

共通の趣味や話題を通じて会員同士が交流でき、楽しみながらポイントも貯まる安心・安全なSNSです。

- らくらくコミュニティは無料のサービスです。パケット通信料はお客様の負担となります。
- 登録番号とパスワードは、端末の修理や機種変更の際などに必要となります。メモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

1 ホーム画面で→[arrows]→[らくらくコミュニティ]

2 画面の指示に従って操作

らくらくコミュニティのトップページが表示されます。

- タイムラインから興味のあるユーザーの投稿をタップしてみましょう。
- 登録番号とパスワードは「マイページ」→「プロフィール編集」から確認ができます。
- 登録番号とパスワードを既にお持ちの場合は［電話番号で登録・ログイン］→［登録番号でログインはこちら］をタップしてください。
- らくらくコミュニティの使いかたなどを確認するときは、トップページの［メニュー］→［ヘルプ］をタップします。

ララしあコネクト

歩数・歩速、心拍数、睡眠時間、血圧（ユーザーが入力）などのデータを元に、健康管理をサポートします。

1 ホーム画面で→[arrows]→[ララしあコネクト]

初期設定画面（生年月日、性別、身長、体重などの入力画面）が表示されます。

2 各データを入力→[始める]

ララしあコネクトのメイン画面が表示されます。

- 生年月日・性別・身長・体重などのデータは正確な数値を入力してください。入力したデータを元にした測定が行われます。

◆ ララしあコネクトでの測定

ララしあコネクトでは、本端末を使用して各種測定やデータ入力が行えます。
主な機能は以下のとおりです。

■ 自律神経パワー

- 本端末の背面にある脈波センサーを指で触れることで、自律神経の活動量を測定します。自律神経の活動量を測定・数値化することで、健康管理に役立てます。

■ 歩数・歩速の測定

- 歩数、歩速、消費カロリー、脂肪燃焼量、活動量などを測定・表示します。

■ 心拍数の測定

- インカメラを利用して顔を認識し、心拍数を測定・表示します。

■ 睡眠の測定

- 睡眠時、端末を枕元に置いて睡眠時間や眠りの深さを測定・表示します。

■ 血圧の記録

- ご利用されている血圧計で測定した最高／最低血圧と脈拍数を入力し記録します。
- ご利用の血圧計の測定結果をカメラで撮影することで、値を自動的に入力することもできます。

■ 脳力ストレッチング

- 脳力ストレッチングをプレイすることで、脳年齢、脳力指標を測定・表示します。

■ ランキング

- 測定／入力値を元に、全体／同世代／同地域の利用者内でのランキングを表示します。

■ データ引き継ぎ

- ララしあコネクトのデータをクラウドに同期します。

✓お知らせ

- 心拍数の測定にあたっては、なるべく明るい室内で測定するなどの測定環境や、前髪がかからないようにするなどの開始前の注意事項をご確認ください。
  - 周囲の環境や測定状態によっては測定できない場合があります。
  - 医療行為には使用できません。
- その他の機能や操作などについては、≡をタップして［ヘルプ・よくあるお問い合わせ］などをご覧ください。

FASTメモ

本端末の操作中にすばやくメモ（テキスト・音声）や写真をとることができます。また、アイコンをロック画面に表示するかの設定が行えます。

1 ホーム画面で→[arrows]→[FASTメモ]

- ホーム画面で→［設定］→［arrowsオススメ機能］→［FASTメモ］の［使ってみる］をタップしても起動できます。

2 →[テキストメモ]／[音声メモ]／[写真メモ]

3 画面の指示に従ってメモを保存

- 保存したメモをタップすると、メモを表示／再生できます。

✓お知らせ

- ロック画面にアイコンを表示するには、ホーム画面で→［arrows］→［FASTメモ］→→［FASTメモの起動］→項目を選択→［保存］をタップします。
- 通話中は、「音声メモ」を利用してメモを作成することはできません。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P31）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

1 ホーム画面で→[設定]→[位置情報]

2 [位置情報を使用]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

4 [位置情報サービス]→[位置情報の精度]

5 [位置情報の精度を改善]をONにする

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Google マップ

Google マップで現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Google マップを利用するには、5G／4G／3G／GSMネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報の設定をしてください。→P108
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google]→[マップ]

- Google マップの操作については、画面右上のGoogle アカウントアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］から使いかたなどをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度の設定を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で→[ツール]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、［クラウドサービスを設定する］または［後で設定する］をタップします。

◆ スケジュールの登録

1 カレンダー画面で

2 各項目を設定→[保存]

スケジュールが登録されます。

❖通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。

◆スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 カレンダー画面で日付をタップ→登録したスケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集：[編集]→スケジュールを編集→[保存]

スケジュールの削除：→[1件削除]→[削除する]

✓お知らせ

- カレンダー画面でをタップすると、設定などのさまざまな操作ができます。
- カレンダー画面でをタップすると、日付移動などのさまざまな操作ができます。

時計

アラーム、世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間が利用できます。

- アラーム画面／世界時計画面／タイマー画面／ストップウォッチ画面／おやすみ時間画面で→［設定］をタップすると、時計の設定ができます。

◆世界時計を表示

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

世界時計画面が表示されます。

- 世界時計が表示されなかった場合は、時計画面で［世界時計］をタップします。

✓お知らせ

- 世界時計画面に世界各地の時刻を表示する場合は、→都市名を入力→都市を選択します。

◆アラームの設定

1 ホーム画面で→[ツール]→[時計]

2 [アラーム]

アラーム画面が表示されます。

3 →時刻を設定→[OK]

アラームが設定されます。

- ／または［解除］をタップするとアラームのON／OFFを設定できます。
- 時刻をタップするとアラームを鳴動させる時刻を変更できます。

✓お知らせ

- アラーム画面でアラームを左右にスワイプすると削除することができます。
- アラームを削除した直後に画面右下に表示される［元に戻す］をタップすると、元に戻すことができます。

◆タイマーの利用

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］

2 ［タイマー］
タイマー画面が表示されます。

3 時間を入力→
カウントダウンが開始されます。

4 カウントダウンが終了したら
カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に
- カウントダウンを再開する場合はをタップします。

カウントダウンをリセット：
タイマーを削除：
タイマーを追加：→時間を入力→
- タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：カウントダウン中や停止中に［+1:00］
- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ストップウォッチの利用

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］

2 ［ストップウォッチ］
ストップウォッチ画面が表示されます。

3 ［開始］
計測が開始されます。
ラップを追加：計測中に［ラップ］
計測を一時停止：計測中に［停止］
- 計測を再開する場合は［開始］をタップします。

計測をリセット：計測中または停止中に［リセット］

◆おやすみ時間の利用

就寝／起床の時間やディスプレイの明るさ、入眠時や目覚ましの音などを設定して、規則正しい睡眠の管理に役立てることができます。

1 ホーム画面で→［ツール］→［時計］

2 ［おやすみ時間］
おやすみ時間画面が表示されます。
- 説明画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 各カードをタップ→各項目を設定
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

電卓

1 ホーム画面で→[ツール]→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：⌫
数式や計算結果をすべて消去：AC
関数パッドを表示：⌃⌄

✓お知らせ

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

「Google」アプリを利用して検索します。

◆ Google 検索

キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、Google アカウントでログインすると、検索の履歴や関心のあるトピックに関する最新情報などが利用できます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して（検索）をタップすると、Webサイトの検索結果が表示されます。

3 検索候補から選択

検索結果が表示されます。

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]

2 （音声検索）→送話口／マイクに向かってキーワードを発声

検索結果が表示されます。

- （音声検索）をタップすると、（アプリはマイクを使用しています）が画面右上に数秒間表示されます。

✓お知らせ

- Google 検索の詳細については、Google 検索画面で画面右上のアカウントアイコンをタップ→［ヘルプとフィードバック］をタップしてヘルプをご覧ください。

本体設定

設定メニュー

設定メニューから各種設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→[設定]

設定メニューが一覧で表示されます。

- [設定を検索] をタップすると、設定メニューの項目を検索することができます。

カテゴリ		参照
arrowsオススメ機能		P114
Google		P118
arrows AI		P118
ネットワークとインターネット	機内モード	P119
	Wi-Fi	P119
	モバイルデータ	P122
	SIMとモバイルネットワーク	P123
	アクセスポイントとテザリング	P124
	VPN	P126
	プライベートDNS	P126
接続済みのデバイス		P127
アプリ		P128
通知		P129
音とバイブレーション		P130
モード		P131
ディスプレイ		P132
ホーム画面とロック画面		P133
ジェスチャー		P134
ストレージ		P134
データのバックアップまたはコピー		P135
バッテリー		P135
システム	言語と地域	P136
	キーボード	P137
	日付と時刻	P137
	歩数計	P137
	バックアップ	P138
	リセット オプション	P139
	パフォーマンス	P140
	システムアップデート	P172
	診断データ送信	P140
端末情報		P140
セキュリティとプライバシー		P141
位置情報		P107
ドコモのサービス／クラウド		P147
パスワード、パスキー、アカウント		P148
Digital Wellbeing、保護者による使用制限		P149
緊急情報と緊急通報		P149
通話設定		P78
ユーザー補助		P150

arrowsオススメ機能

arrowsオススメ機能の設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]

2 各項目を設定

Super ATOK ULTIAS：設定方法→P53
ATOK キーワード Express：設定方法→P53
アクションキー：押すだけで Google Gemini やお気に入りのアプリを起動でき、スムーズなアプリの利用が可能です。→P134
Exlider：電源キーをなぞる／ダブルタップすることで画面のスクロールや拡大ができます。
FASTフィンガーランチャー：設定方法→P114
スライドインランチャー：設定方法→P115
FASTメモ：設定方法→P107
タッチ感度アップ：設定方法→P132
リフレッシュレート切替：リフレッシュレートを設定します。
ダイレクト給電：設定方法→P135
電池長持ち充電：設定方法→P135
バッテリーモニター：設定方法→P135
仮想メモリ：ストレージをメモリとして使用する容量を設定します。
メモリクリーナー：設定方法→P115
プライバシーモード：設定方法→P115
アプリピン止め：設定方法→P60
arrows passport：設定方法→P116
迷惑電話対策機能：設定方法→P117
arrows AI：設定方法→P118
- ［詳しくはこちら］をタップすると、arrows AIでできることや、機能の詳細について確認できます。

自律神経測定機能：自律神経の活動量を測定・数値化することで、健康管理に役立てます。
arrows ポータル（La Member's）：役立つ情報や、暮らしをアップデートするコンテンツを受け取ります。→P104
ゲームゾーン：快適にゲームをプレイするための各種設定やランチャー／ギャラリー機能が利用できます。
シンプルモード切替：設定方法→P133
洗い方とメンテナンス方法：本製品の洗い方とメンテナンス方法を確認できます。

◆FASTフィンガーランチャー

指紋センサーに触れるだけで、ロック解除とよく使うアプリの起動がかんたんにできます。
- あらかじめ指紋を登録する必要があります。→P144

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[FASTフィンガーランチャー]の[設定する]

2 指紋を登録済みの指をタップ→認証操作
- 指紋を登録していない指をタップすると、指紋を追加できます。
- →［削除］をタップすると指紋を削除できます。

3 [ダイレクトモード]／[ランチャーモード]
- モード名をタップすると、モードを切り替えることができます。

4 画面の指示に従ってアプリを登録→[完了]

◆スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動できるように設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[スライドインランチャー]の[設定する]

2 [スライドイン機能]をONにする

3 各項目を設定

- ［機能説明］をタップすると、スライドインランチャーの使いかたを確認できます。

✓お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆メモリクリーナー

バックグラウンドのアプリを終了して空きメモリを確保します。

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[メモリクリーナー]の[使ってみる]

2 [メモリクリーナー開始]

- ［監視対象外アプリ］をタップしてアプリを登録すると、登録したアプリは終了されなくなります。

✓お知らせ

- メモリクリーナーによってアプリが終了しても、最近使ったアプリには表示されます。

◆プライバシーモード

指定したアプリの非表示や通知のオフをまとめて設定することで、表示／非表示を簡単に切り替えることができます。

- あらかじめ認証操作が必要な画面ロックを設定する必要があります。→P141

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[プライバシーモード]の[設定する]

2 画面の指示に従って操作→[使ってみる]→[OK]

3 認証操作

4 [プライバシーモードの利用]をONにする

5 各項目を設定

アプリ：隠すように設定したアプリやウィジェットを、ホーム画面やアプリ一覧に表示しないように設定します。
通知：選択したアプリの通知を通知パネルに表示しないように設定します。
着信先：登録した電話番号から着信があったときに、着信を行わずに相手に固定の応答メッセージをSMSで送信します。

指紋認証時のON／OFF：指紋認証を使用して、ロック画面からプライバシーモードをONまたはOFFにするように設定します。
ホームにショートカットを作成する：ホーム画面上にプライバシーモードのショートカットを作成します。
壁紙：プライバシーモードのON／OFFに応じて、表示する壁紙を変更します。
時計表示：プライバシーモードをONに切り替えたときに、時計の表示を切り替えるかどうかを設定します。ONにすると、プライバシーモードがONの間は、時計が12:34のように表示されます。
プライバシーモード自動ON機能：プライバシーモードを自動でONにするかを設定します。

✓お知らせ

- 通知パネルを表示した状態で、時刻表示の横から右または左にスワイプすると、プライバシーモードのONとOFFの切り替えができます。ONからOFFに切り替える場合は、右または左にスワイプした後に認証操作を行ってください。
- ［通知］をONにしているときに、隠している通知がある場合は時計が斜体で表示されます。
- arrowsホームまたはシンプルホームをお使いの場合は、プライバシーモードのON時とOFF時のそれぞれでアイコン配置を記憶し、ON／OFFに応じてアイコン配置を変更します。（ウィジェットと一部ショートカットアイコンについては、隠す対象にした場合に記憶できないものがあります。）
- プライバシーモードのアプリデータを削除したい場合、［プライバシーモードの利用］をOFFにしてからストレージ削除を行ってください。

◆ arrows passport

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→P116

- あらかじめ認証操作が必要な画面ロックを設定する必要があります。→P141

❖IDやパスワードの登録

1 ホーム画面で→［設定］→［arrowsオススメ機能］→［arrows passport］の［使ってみる］→画面の指示に従って操作→［利用する］→認証操作

- バックアップの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 ［新規登録］→各項目を設定→［完了］

- 登録した内容は、キーボードのMENU→［arrows passport］から引用することができます。

編集：タイトルをタップ→各項目を編集→［完了］
削除：タイトルをロングタッチ→画面下部のまでドラッグ→［OK］
並べ替え：タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ
チュートリアル：⋮→［チュートリアル］→画面の指示に従って内容を確認
バックアップ／リストア：⋮→［バックアップ／リストア］→項目を選択→画面の指示に従って操作

- バックアップした内容は、OSのバージョンによっては正しくリストアできないことがあります。

全件削除：⋮→［全件削除］→［OK］

✓お知らせ

- 「管理項目」を「パスワード」に設定すると、文字数や文字の種類に応じたパスワードの自動生成ができます。
- 最大で100件まで登録できます。
- 登録したID（アカウント）やパスワードのデータは暗号化されており、外部機器（PCや他のスマートフォン）に本端末のmicroSDカードを挿入してもデータを読み取ることはできません。ただし、特殊な解析手法や、将来的な解析技術の向上等により、登録データを読み取られる恐れがあるため、microSDカードの紛失や盗難には十分ご注意ください。

❖IDやパスワードを関連付けて登録

ID（アカウント）やパスワードなどの入力画面に対応した認証情報を登録します。

- あらかじめ「優先するサービス」の［変更］をタップして、「arrows passport」に変更する必要があります。→P148

1 パスワードなどの入力欄を選択→[arrows passport を使う]

2 認証操作

3 [新規に登録する]→各項目を設定→[完了]

入力画面の情報と認証情報が登録されます。

- 登録完了後は、対応する入力画面で入力欄を選択→［arrows passport を使う］→認証操作と操作すると自動で引用入力されます。
- 手動でパスワードなどを入力・送信した後に［はい］をタップしても、入力画面の情報を含めた内容を登録することができます。

✓お知らせ

- パスワード入力欄でキーボード上に［arrows passportを使う］が表示されない場合は、次の操作を行ってください。
  - パスワードを入力するアプリの再起動
  - キーボードのMENU→［arrows passport］から項目を選択して入力
- Webサイトやアプリのログイン画面によっては、登録した内容が自動引用されない場合があります。

◆迷惑電話対策機能

電話帳に登録していない相手から着信した場合は、通話を自動で録音することができます。着信時には特別な着信音でお知らせし、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

- 迷惑メモは1件あたり最長60分、最大50件録音されます。50件を超えると、保護されていない古い迷惑メモから順に上書きされます。残しておきたい迷惑メモは保護してください。
- キャッチホンの利用中は、次の動作になります。
  - 通話中に着信した場合、本機能は動作しません。
  - 迷惑メモ録音中に別の相手と通話をすると録音が中断されることがあります。

❖迷惑電話対策機能を使用する

1 ホーム画面で→[設定]→[arrowsオススメ機能]→[迷惑電話対策機能]の[設定する]

2 各項目を設定

ON／OFFを設定：[迷惑電話対策]

• 利用時のご注意画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］をタップしてください。

録音した会話を再生：［迷惑メモリスト］→迷惑メモを選択→▶

海外からの着信を拒否：［海外からの着信を拒否］

機能説明を確認：［機能説明］

✓お知らせ

• 迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。

Google

Google のアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

• Google 設定の詳細については、Google の設定画面で⋮→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［Google］

Google の設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

arrows AI

arrows AIに関する設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［arrows AI］

2 各項目を設定

プロンプトバー：質問などを入力するプロンプトバーの起動方法を設定します。

• ［フローティングAIアイコン］をONにすると、画面の端に❁が半分隠れた状態で表示されます。タップすると❁が表示され、再度タップするとプロンプトバーを起動できます。

• ❁が表示された状態で❁をドラッグすると、画面の端の好きな位置に移動できます。❁を非表示にしたい場合は、画面下部の［×］までドラッグします。

アクション：AIのアクションをカスタマイズします。

履歴：会話履歴が表示されます。

パーソナライズ：学習データの使用のON／OFFを設定したり、学習データの管理をしたりします。

学習データ：学習データの検索や削除をします。

言語：言語を選択します。

音声：arrows AIの音声読み上げに関する設定をします。

ローカルモデル：AIモデルを管理します。

ネットワークとインターネット

ネットワークとインターネットに関する設定を行います。

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2 [機内モード]をONにする

✓お知らせ

- イヤホンなど本端末と音声通信するBluetooth機器を接続中に機内モードを設定しても、該当機器とのBluetooth接続は切断されません。
- 機内モードを設定していないときにWi-Fi、Bluetooth、テザリングの各機能がONの場合に限り、前回の機内モード時の設定が再現されます。

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n/ax）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi]をONにする

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。切り替

わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］→［dアカウント設定］をタップして操作してください。
- Wi-Fiネットワークに接続すると、「接続済み」と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- インターネットに接続されていないアクセスポイントに接続するには、「XXXXはインターネットにアクセスできません」（XXXXはアクセスポイント名）の通知をタップし、表示されたダイアログで［はい］をタップします。この操作を省略するには、［このネットワークについて次回から表示しない］にチェックを付けてから［はい］をタップしてください。また、インターネットに接続されていないアクセスポイントは、自動で再接続しない場合がありますので、必ずタップして接続してください。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。
- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［Wi-Fi］

2 ［ネットワークを追加］
- をタップし、QRコードをスキャンしてもネットワークを追加することができます。

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報や詳細設定を設定→［保存］

✓お知らせ
- ステルス機能を無効にしているWi-Fiネットワークを追加する場合、手順4で［詳細設定］をタップし、［非公開ネットワーク］を［いいえ］にすることで、プライバシーの保護に役立ちます。

❖Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

1 ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［Wi-Fi］

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→［削除］
- ［共有］が表示されている場合は、［共有］をタップするとQRコードが表示され、現在接続中のWi-Fiアクセスポイントを共有することができます。
- をタップすると、Wi-Fiネットワークの設定を編集することができます。
- ［接続を解除］をタップすると、ネットワークを削除せずに切断することもできます。
- ［自動接続］をONにすると、設定されたWi-Fiネットワークを検知したら自動的に接続します。

❖Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリを Play ストアで入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、⋮→［デバイスの検索］をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→［OK］

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、［接続］をタップしてください。

❖Wi-Fiを自動的にONにする

保存済みの高品質なWi-Fiネットワークを検出したとき、自動でWi-Fi機能をONにすることができます。

- あらかじめ位置情報の設定をしてください。→P108

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fi を自動的に ON にする]をタップしてON／OFFを設定

- Wi-Fiスキャンを ONにするかの確認画面が表示された場合は、［ON にする］をタップします。

✓お知らせ

- 次のような場合は、本機能が動作しない場合があります。
  - ［機内モード］がONの場合
  - Wi-Fiを手動でOFFにした直後の場合（検出が再開されるまでしばらく時間がかかります）
  - 保存済みネットワークの設定で［自動接続］が有効になっていない場合

❖Wi-Fi設定

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [ネットワーク設定]

3 各項目を設定

Wi-Fi を自動的に ON にする：設定方法→P121
パブリック ネットワークを通知する：高品質の公共ネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。
WEP ネットワークを許可：WEPネットワークを許可するかを設定します。
証明書のインストール：証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct：設定方法→P121

❖モバイルデータ以外の通信量

モバイルデータ以外の通信量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ以外の通信量も確認できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [モバイルデータ以外の通信量]

◆モバイルデータ

モバイルデータ通信に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルデータ]

2 各項目を設定

モバイルデータを使用：設定方法→P122
データ用SIM：現在使用しているSIMの名前と電話番号が表示されます。
- 2つのSIMを同時に利用している場合は、2つのSIMの情報が表示されます。タップしてSIMを選択すると、モバイルデータ通信に使用するSIMとして設定できます。

XXX使用済み：モバイルデータ使用量を確認できます。アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。
データの警告と制限：設定方法→P122
データセーバー：設定方法→P123

❖モバイルデータの設定

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）をON／OFFにします。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]

2 [モバイルデータ]のON／OFFを設定
- 確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- ［モバイルデータ］→［モバイルデータを使用］をタップしてもON／OFFを設定することができます。

✓お知らせ
- アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて［モバイルデータ］のON／OFFを切り替えてください。

❖データの警告と制限

データ使用量の使用サイクル（測定期間）を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルデータ]

2 [データの警告と制限]→各項目を設定

✓お知らせ
- データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面

が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには［再開］をタップします。

❖データセーバー

データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルデータ]→[データセーバー]

2 [データセーバーを使用]をONにする

- ［モバイルデータの無制限利用］をタップすると、データ使用を無制限にするアプリを設定できます。

◆SIMとモバイルネットワーク

SIMとモバイルネットワークに関する設定を行います。nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]

2 SIMを選択

- SIMをOFFにすると、nanoSIMカードまたはeSIMを使用しないように設定できます。
- ［モバイルデータ用SIM］をタップすると、モバイルデータ通信に関する設定ができます。→P122

3 各項目を設定

✓お知らせ

- ［eSIM への変換］をタップすると、nanoSIMカードがeSIMに変換され、nanoSIMカードは利用できなくなります。nanoSIMカードを元に戻すには、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ［eSIM を消去する］をタップすると、eSIMが消去され、eSIMは利用できなくなります。eSIMを再発行するには、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

❖eSIMをダウンロードする

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]→[新しいeSIMをダウンロード]

2 [eSIM を設定]→QRコードをスキャン

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- QRコードをスキャンせずに、eSIMを自動でダウンロードすることもできます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 手順2で［他のデバイスから SIM を移行する］をタップすると、eSIM転送機能に対応している端末からSIM情報を本端末に転送できます。eSIM転送機能について詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本製品は、2つのSIMを同時に利用することで、電話やモバイルネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）などの機能にどちらのSIMを利用するかを選択できます。

・2つのSIMを同時に利用している場合は、表示される項目や操作が異なることがあります。

❖アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（docomo）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera Uをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]

2 SIMを選択→[アクセス ポイント名]
- 現在使用されているアクセスポイントには◉が表示されます。

■ アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]

2 SIMを選択→[アクセス ポイント名]→[+]
- アクセスポイントを編集する場合は、編集するアクセスポイントをタップします。

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力

4 [APN]→アクセスポイント名を入力

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→[保存]

❖アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ アクセスポイントを初期化する

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]

2 SIMを選択→[アクセス ポイント名]→⋮→[デフォルトにリセット]

◆アクセスポイントとテザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、Wi-FiやUSBケーブル、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。
- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- 最大で15台（Wi-Fiテザリング：10台、USBテザリング：1台、Bluetoothテザリング：4台）の機器を同時に接続できます（イーサネットテザリングを含まず）。

❖Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。
- テザリングは2.4GHzに対応しています。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]をONにする

❖Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。
- お買い上げ時は、[アクセスポイント名]には[F-51G_XXXX]（XXXXは4桁の数字）が、[セキュリティ]には[WPA2/WPA3-Personal]が、[アクセスポイントのパスワード]にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]→[Wi-Fiテザリング]

2 アクセスポイント名を入力→セキュリティを選択→アクセスポイントのパスワードを入力

✓お知らせ

- 手順2で[アクセス ポイントを自動的にOFFにする]をONにすると、Wi-Fi対応機器が接続されなかったとき、Wi-Fiテザリングが自動的にOFFになります。
- 手順2で[テザリングの使用]をONにしてをタップすると、QRコードでアクセスポイントを共有できます。

❖USBテザリング

本端末をUSBケーブルでパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

USBモードの選択画面が表示されます。

2

USBの設定画面が表示されます。
- 通知パネルを開く→[このデバイスを USB で充電中]をタップしても、USBの設定画面を表示できます。

3 [USB テザリング]

✓お知らせ

- Windows 11のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

❖Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→P155

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]

2 [Bluetooth テザリング]をONにする

✓お知らせ

- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖イーサネットテザリング

本端末をUSBとイーサネットの変換アダプタを経由したアクセスポイントとすることで、イーサネット対応機器をインターネットに接続できます。

1 本端末とイーサネット対応機器をUSBとイーサネットの変換アダプタおよびイーサネットケーブルで接続

2 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセスポイントとテザリング]

3 [イーサネット テザリング]をONにする

◆VPN（仮想プライベートネットワーク）

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

❖VPNの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]

2 [+]→各項目を設定→[保存]

❖VPNへの接続

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]

2 接続するVPNを選択

3 必要に応じて認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

❖VPNの切断

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]

2 切断するVPNを選択

3 [切断]

◆プライベートDNS

対応するDNSサーバーとの通信を自動で暗号化するかを設定したり、利用するプライベートDNSプロバイダを登録したりします。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[プライベートDNS]

2 **項目を選択→[保存]**

- [プライベートDNSプロバイダのホスト名]をタップした場合は、DNSプロバイダのホスト名を入力します。

接続済みのデバイス

Bluetooth機器との接続など、他の機器との接続に関する設定を行います。

1 **ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]**

2 **各項目を選択**

新しいデバイスとペア設定する：設定方法→P155
保存済みのデバイス：設定方法→P156
接続の設定：設定方法→P127
Smart Connect：「Smart Connect」アプリを利用して本端末をパソコンなどとペア設定し、ファイルの共有や画面の拡張などの操作ができます。

◆接続の設定

1 **ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]**

2 **各項目を選択**

Bluetooth：設定方法→P155
複数デバイス間サービス：同じ Google アカウントにログイン中の他のデバイスと、ビデオ通話などを共有できます。
NFC／おサイフケータイ：設定方法→P102
キャスト：「Smart Connect」アプリを利用して、対応する外部機器に本端末の画面や音声を出力します。
印刷：設定方法→P159
Chromebook：本端末と Chromebook™ をリンクします。
Quick Share：本端末の近くにあるデバイスとファイルを共有できます。
Android Auto：車の画面でアプリを使用します。

アプリ

アプリに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリ]

2 各項目を設定

最近開いたアプリ：最近起動したアプリが表示されます。すべてのアプリを表示するには［XX個のアプリをすべて表示］をタップします。

デフォルトのアプリ：デフォルトで使用するデジタルアシスタント アプリやブラウザアプリ、ホームアプリ、通話転送アプリ、電話アプリ、発信者番号／迷惑電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。

アシスタント：Google のアシスタントに関する設定をします。

利用時間：アクティビティの詳細が表示され、本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりできます。

クラウド メディアの設定：アプリやウェブサイトから写真や動画の選択が求められたときに、クラウドメディアに接続するアプリを選択します。

連絡先アプリのストレージ：連絡先の保存先を設定します。

使用されていないアプリ：しばらく使用されていないため、権限や一時ファイルが削除されたアプリが表示されます。

特別なアプリアクセス：本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を変更できます。

◆アプリ情報

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

❖アプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[許可]

❖アプリの削除

- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

❖アプリの無効化

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- ［無効にする］を選択した場合は［アプリを無効にする］をタップします。

✓お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

通知

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[通知]

2 各項目を設定

アプリの通知：各アプリからの通知を管理します。
通知履歴：最近受信した通知などの履歴を見ることができます。
会話：通知パネルに表示されるメッセージアプリでの会話の設定を行います。
バブル：フローティングアイコン（バブル）の表示を許可するかどうかを設定します。
通知の確認、返信、管理：通知を読み取れるアプリとデバイスを管理します。
ロック画面上の通知：ロック画面の通知の表示について設定します。
機密性の高い通知※：機密性の高いコンテンツをロック画面に表示するかを設定します。
通知のクールダウン：短時間で同じアプリに通知が多く届いたとき、通知の音量を下げるかを設定します。
点滅による通知：通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに、ライトまたは画面を点滅させて通知するかを設定します。
緊急速報メール：緊急速報メールに関する設定をします。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない：ステータスバーにサイレント通知を表示するかを設定します。
通知のスヌーズを許可：通知のスヌーズを許可するかを設定します。

アプリアイコンバッジ：アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。
拡張通知：操作や返信の候補を提示します。
※画面ロックを［なし］／［スワイプ］に設定している場合は表示されません。

音とバイブレーション

音とバイブレーションに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[音とバイブレーション]

2 各項目を設定

メディアの音量：設定方法→P131
通話音量：設定方法→P131
着信音の音量：設定方法→P131
音声の再生先：音声の再生先の変更や、音量の調節などを行います。
通知の音量：設定方法→P131
アラームの音量：設定方法→P131
ダイヤルパッドの操作音：ダイヤルパッド（キーパッド）を操作したときに音を鳴らすかを設定します。
着信音・SIMカード／着信音・eSIM：nanoSIMカード／eSIMの電話着信音を設定します。
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

デフォルトの通知音：通知音を設定します。
デフォルトのアラーム音：アラーム音を設定します。
画面ロックの音：電源キーを押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。
タップ／クリック操作音：項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。
バイブレーションとハプティクス：バイブレーションやタップ操作時のフィードバックの強さを設定できます。

• アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。

バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示：マナーモードを［バイブレーション］に設定したときに、ステータスアイコンが表示されるかを設定します。

充電時の音とバイブレーション：充電開始時に音と振動でお知らせするかを設定します。

Dolby Atmos：Dolby Atmosの設定をします。

メディア：音楽再生終了時のクイック設定（→P58）の表示などについて設定します。

自動字幕起こし：自動字幕起こしに関する設定をします。［自動字幕起こしを使用する］をONにすると、音声を検出して自動的に字幕を表示します。

◆音量

メディア再生音、通話音、着信音、通知音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［音とバイブレーション］

2 ［メディアの音量］／［通話音量］／［着信音の音量］／［通知の音量］／［アラームの音量］のスライダーをスライドして音量を調節

✓お知らせ

- ［着信音の音量］を0にすると、マナーモードが［バイブレーション］に設定されます。バイブレーションをOFFにしたい場合は、マナーモードを［ミュート］（→P131）に設定するなどしてください。
- 音量キーを押しても［メディアの音量］を調節できます。
- 音量キーを押して表示される画面で、画面上部のアイコンをタップすると、タップするごとにマナーモードを切り替えることができます。
  - 表示（バイブレーション）：着信と通知をバイブレーションでお知らせ
  - 表示（ミュート）：着信と通知を音やバイブレーションでお知らせしない
  - 表示（OFF）：［着信音の音量］と［通知の音量］で設定した音量で着信と通知をお知らせ

モード

通知の割り込みを最小限に抑えて集中できるようにします。就寝中や仕事中、運転中など、状況に応じたモードを選択して設定できます。

1 ホーム画面で→［設定］→［モード］

2 各項目を設定

サイレントモード：サイレントモード中の通知などに関する詳細を設定します。

おやすみ時間：おやすみ時間のスケジュールや通知などに関する詳細を設定します。

運転中：運転中の通知などに関する詳細を設定します。

独自のモードを作成する：独自のモードを作成します。

ディスプレイ

画面の明るさなど、画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ディスプレイ]

2 各項目を設定

明るさのレベル：画面の明るさを設定します。
明るさの自動調節：[明るさのレベル]で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。
ダークモード：黒の背景を使用するかを設定します。
フォント：表示フォントを変更できます。
カラー：画面の色合いを設定します。
表示サイズとテキスト：フォントサイズや表示サイズ、テキストを太字にするなどの設定を行います。
リフレッシュレート：リフレッシュレートを設定します。
画面の自動回転：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

色のコントラスト：色とテキストのコントラストを設定します。
ナイトディスプレイ：暗い照明の下でも画面を見やすくするかを設定します。自動的にナイトディスプレイをONにすることもできます。
ちらつき防止：暗い環境での画面のちらつきを防ぎます。
画面消灯：画面が消灯するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー：充電中にスリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。
タッチ感度アップ：画面保護シート等の上からタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。
画面録画：本端末の画面の録画について設定します。
- 本端末の画面の録画は、クイック設定（→P58）の［画面録画］をタップして利用できます。

Smart Connect：「Smart Connect」アプリを利用して本端末をパソコンなどとペア設定し、ファイルの共有や画面の拡張などの操作ができます。

✓お知らせ

- ［画面の自動回転］をOFFに設定しても、本端末の向きを変えたときにが表示された場合は、タップして画面表示を切り替えることができます。

ホーム画面とロック画面

ホーム画面やロック画面に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ホーム画面とロック画面]

2 各項目を設定

ホーム画面：設定方法→P133
ロック画面：設定方法→P133
壁紙とスタイル：ホーム画面とロック画面の壁紙や表示などについて設定します。

◆ ホーム画面の設定

ホームアプリの切り替えや、ホーム画面の設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ホーム画面とロック画面]→[ホーム画面]

2 各項目を設定

壁紙とスタイル：ホーム画面とロック画面の壁紙や表示などについて設定します。
ホーム画面切替：設定方法→P62
シンプルモード切替：ホームアプリがシンプルホーム、キーボード入力がかんたんキーボード、通話画面がかんたん電話に設定されます。また、はっきり文字がONになり、ナビゲーションバーに◀(バックアイコン)、○(ホームアイコン)、□(履歴アイコン）が表示されます。
シンプルホーム設定：シンプルホームの設定を行います。
arrowsホーム設定：arrowsホームの設定を行います。

◆ ロック画面の設定

ロック画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ホーム画面とロック画面]→[ロック画面]

2 各項目を設定

プライバシー：ロック画面に表示する通知を設定します。
安全な返信：ロック画面からメッセージなどを返信するとき、認証操作を行うかを設定します。
- 認証操作を行うには、あらかじめ認証操作が必要な画面ロックを設定してください。

ショートカット：ロック画面に表示するショートカットを設定します。
メディアプレビュー：メディアのプレビューをロック画面に表示するかを設定します。
CO2削減／歩数の進捗表示：時計と共に、CO2削減／歩数の進捗を表示するかを設定します。
デバイス コントロールを使用：ロック画面のショートカットからデバイス コントロールを起動した際に、画面ロックを解除せずに操作できるようにするかを設定します。
- 本端末に対応するアプリをインストールすると、ショートカットが表示されます。

ロック画面上のテキスト：ロック画面に表示するメッセージを入力します。
ロック画面を直接表示：スリープモード中に画面をダブルタップしてロック画面を表示できるように設定します。

ジェスチャー

ナビゲーションバーや電源キー、アクションキーなどに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[ジェスチャー]

2 各項目を設定

システムナビゲーション：画面をスワイプすることで各種操作を行う［ジェスチャーナビゲーション］と、ナビゲーションバーにバックアイコン、ホームアイコン、履歴アイコンを表示させる［3ボタンナビゲーション］を選択できます。また、かこって検索を利用するかを設定します。

片手モード：片手モードを使用するときの設定を行います。

- ［システムナビゲーション］が［ジェスチャーナビゲーション］のとき、［片手モードの使用］をONにできます。

電源キー：電源キーを2回押し、長押ししたときに起動する機能の設定や、長押しの時間を設定します。

アクションキー：アクションキーを1回押し、2回押し、長押ししたときに起動する機能の設定や、長押しの時間を設定します。お気に入りのアプリを選択し、最大3つの機能を割り当ててスムーズな利用が可能です。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用状況を確認します。

1 ホーム画面で→[設定]→[ストレージ]

2 各項目を設定

このデバイス※：本端末のメモリの使用容量と合計容量、ファイルの種類やシステムごとの使用容量を表示します。

SDカード※：microSDカードの使用容量と合計容量を表示します。

- ［ファイル］をタップすると、microSDカードのファイルを管理できます。
- →［取り出し］をタップすると、microSDカードのマウントを解除（認識を解除）できます。再度認識させるには、ホーム画面で→［設定］→［ストレージ］→［このデバイス］→［SDカード］→→［マウント］をタップします。
- →［フォーマット］→［フォーマット］→［フォーマット］→［完了］をタップすると、microSDカード内のデータを消去できます。操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

空き容量を増やす：「Files」アプリでファイルを管理して、空き容量を増やすことができます。

※ 本端末にmicroSDカードを取り付けているときに表示され、［このデバイス］／［SDカード］をタップして切り替えることができます。

✓お知らせ

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

データのバックアップまたはコピー

データのバックアップの設定や、データコピーの操作をします。

1 ホーム画面で→[設定]→[データのバックアップまたはコピー]

2 各項目を設定

バッテリー

電池残量の確認などを行います。

- 利用状況により表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[バッテリー]

2 各項目を設定

(電池の使用状況)：電池残量、電池切れの推定時間などが表示されます。

バッテリーの使用状況：バッテリーの使用状況を確認したり、アプリごとにバッテリーの使用状況を管理したりします。

バッテリーセーバー：設定方法→P136

バックグラウンドアプリを管理する：バックグラウンドで動作するアプリを管理して、電池の消費を抑えるかを設定します。

充電ブースト：充電ブーストを利用するかを設定します。ONにすると、急速充電の充電速度が上がります。

電池長持ち充電：電池の寿命を延ばすため、充電量を約80%に制限するかを設定します。

自動調整バッテリー：電池の使用量が多いアプリを制限するかを設定します。

バッテリー残量パーセント表示：ステータスバーに電池残量を%で表示するかを設定します。

バッテリーモニター：バッテリー充電能力の状態確認と、将来の予測を表示します。電池の劣化を抑えるためのアドバイスを見ることができます。

ダイレクト給電：画面の点灯中は電池の充電を行わず、本端末に直接電力を供給するように設定します。

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバー機能の動作やリマインダーなどについて設定します。

- バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[バッテリー]→[バッテリーセーバー]

2 各項目を設定

バッテリーセーバーを使用：バッテリーセーバーのON／OFFを手動で切り替えます。

標準バッテリーセーバー：機能の動作を［標準バッテリーセーバー］に設定します。

最大バッテリーセーバー：機能の動作を［最大バッテリーセーバー］に設定します。

- をタップすると、5GをOFFにするかを設定したり、通知を制限しないアプリを設定したりできます。

スケジュールとリマインダー：バッテリーセーバーを自動的に起動する設定や、電池残量が低下したときの通知などについて設定します。

システム

本端末のシステムに関する設定を行います。

◆ 言語と地域

本端末で使用する言語などを変更します。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[言語と地域]

2 各項目を設定

システムの言語：優先して使用する言語を設定します。設定を変更すると本端末が再起動し、表示される言語が切り替わります。

アプリの言語：アプリごとに言語を設定します。

読み上げ：読み上げに関する設定を行います。

地域：［システムの言語］で設定している言語の地域を変更します。設定中の言語によっては、地域を変更できません。

温度：温度の単位を設定します。

測定単位：測定の単位を設定します。

週最初の曜日：週最初の曜日を設定します。

✓お知らせ

- アプリによっては「システムの言語」の設定が反映されない場合があります。
- 英語表示から日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で→［Settings］→［System］→［Language & region］→［System Languages］→［日本語（日本）］の＝を最上段（［1］の位置）までドラッグ→［Change］

◆ キーボード

文字入力に関する設定をします。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[キーボード]

2 各項目を設定

画面キーボード：設定方法→P53
スペルチェッカー：スペルチェックを行うかを設定します。
単語リスト：スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加します。
ポインタの速度：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

◆ 日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- ［日時の自動設定］／［タイムゾーンの自動設定］をOFFにすると、日付と時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2 各項目を設定

日時の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。
日付：日付を手動で設定します。
時刻：時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。
タイムゾーンの設定に位置情報を使用：タイムゾーンの設定に位置情報を使用するか設定します。
タイムゾーン：タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示：24時間表示にするかを設定します。

◆ 歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- ［歩数計利用］をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- ［自分からだ設定］で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P148

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[歩数計]

2 [歩数計利用]をONにする

全履歴の削除：[歩数計の全履歴削除]→[実行]→[はい]

- カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

❖歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は一定時間ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆バックアップ

写真や動画、アプリのデータなどをバックアップします。

- バックアップを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[バックアップ]

2 [ONにする]

3 自動的にバックアップする項目にチェックを付ける→[確定]

✓お知らせ

- バックアップがONのとき、手順2で［写真と動画］／［その他のデバイスデータ］をタップすると、設定を変更したり、バックアップをOFFにしたりできます。

◆リセット オプション

本端末のネットワーク設定やアプリの設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 各項目を設定

モバイルネットワークの設定をリセット：モバイルネットワークの設定をリセットします。
おサイフケータイ対応サービスのデータを消去：設定方法→P103
BluetoothとWi-Fiをリセット：BluetoothとWi-Fiの設定をリセットします。
デバイス設定をリセット：バッテリーやディスプレイなどの設定をリセットします。
アプリの設定をリセット：アプリの無効化、デフォルトのアプリ、アプリの権限などをリセットします。
eSIM を消去：ダウンロードされたeSIMを消去します。
全データを消去（出荷時リセット）：設定方法→P139

❖本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 [全データを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]

- microSDカードを利用している場合は、[SDカード内データを消去]にチェックを付けると、microSDカード内のデータが消去されます。
- eSIMを利用している場合は、[eSIMを消去]にチェックを付けると、eSIMが消去されます。
- 認証操作が必要な画面ロックを設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべてのデータを消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。
- 初期化中に電源を切らないでください。

✓お知らせ

- 初期化後、タッチ操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

◆パフォーマンス

本端末のパフォーマンスに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[パフォーマンス]

2 各項目を設定

仮想メモリ：ストレージをメモリとして使用する容量を設定します。

◆診断データ送信

詳細な診断データを提供し、端末の品質向上に役立てます。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[診断データ送信]

2 各項目を設定

端末情報

電話番号や Android™ のバージョンなど、本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で→[設定]→[端末情報]

2 項目を確認

デバイス名：本端末の名前を設定します。
ストレージ：設定方法→P134
RAM：RAMの合計容量が表示されます。
カメラ：インカメラとアウトカメラの画素数が表示されます。
ディスプレイ：ディスプレイの解像度が表示されます。
デバイスの詳細：モデルやハードウェアの情報、自分の電話番号、nanoSIMカード／eSIMのステータス、IMEI、EIDなどの情報を確認できます。
デバイス ID：IPアドレスやWi-Fi MACアドレス、ビルド番号などの情報を確認できます。
法的情報：サードパーティ ライセンスや Google 利用規約などに関する詳細を表示します。
規制ラベル：技適マークや無線LAN（Wi-Fi）周波数帯など、各規制に関する詳細を表示します。

セキュリティとプライバシー

セキュリティとプライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]

2 各項目を設定

アプリのセキュリティ：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。
デバイスのロック解除：画面ロック、指紋、顔認証の設定を行います。また、盗難の保護機能について設定します。→P141、P144、P145
アカウントのセキュリティ：Google セキュリティ診断や、パスワード チェックアップを行います。
デバイスの探索：デバイス位置の特定や、不明なトラッカーのアラートの設定を行います。
システムとアップデート：セキュリティ アップデートや Google Play システム アップデート、バックアップを行います。→P138、P172
プライバシー管理：設定方法→P145
プライバシー ダッシュボード：最近権限を使用したアプリを表示します。
高度な保護機能：高度な保護機能で本端末や Google アカウントを保護します。
その他のセキュリティとプライバシー：設定方法→P146

◆ 画面ロックの設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[画面ロック]

2 認証操作

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
スワイプ：スワイプでロックを解除するように設定します。
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロックを解除するように設定します。
PIN：暗証番号（4～16桁の数字）でロックを解除するように設定します。
- 6桁以上の数字を入力すると、[PIN入力後に自動ロック解除] を設定できるようになります。チェックを付けると、正しいPINが入力された際に自動で画面ロックを解除できます。

パスワード：パスワード（4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 画面の指示に従って操作→必要に応じて[画面ロック]の⚙→各項目を設定

- 画面ロックや指紋認証の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。
ロック解除を自動で確認する：6桁以上の正しいPINが入力された際に自動でロックを解除するかを設定します。
PIN のプライバシーを強化する：PIN入力中のアニメーションを無効にするかを設定します。
画面消灯後にロック：認証操作が必要な画面ロックを選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。
電源ボタンですぐにロックする：電源キーを押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。
タップしてロック解除する：指紋を登録している場合、スリープモード中に指紋センサーをタップしてロックを解除できるようにするかを設定します。

✓お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるデバイスのロック解除の方法は、パターン、PIN、パスワード、指紋認証のいずれかになります。

❖画面ロックをかける

画面ロックを設定（→P141）した後に、電源キーを押してスリープモードになる、または自動的に画面が消灯してから［画面消灯後にロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、電源キーを押してスリープモードを解除し、ロック画面を上にスワイプした後、画面ロックの種類に応じて解除操作を行います。

✓お知らせ

- Google アカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されている Google アカウントでログインしてください。
  https://www.google.com/android/find/
  - 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。
  - Google アカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖解除方法を忘れたときは

- 認証操作が必要な画面ロックを設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。
- 画面ロックのパターン／PIN／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

✓お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、ロック画面から緊急通報（→P73）を行うことができます。

◆指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

❖指紋認証機能利用時の留意事項

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く付着している
  - 泥や油などで指が汚れている
  - 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 指が極端に乾燥している
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋を登録して画面ロックを解除するようにしても、72時間ごとおよび本端末の再起動時には予備の画面ロック方式で画面ロックを解除する必要があります。予備の画面ロック方式をお忘れにならないようご注意ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

- 指紋センサー表面は防水性能を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪など硬いものを押し付け、指紋センサー表面に傷が入る
  - 泥などで指紋センサー表面に傷が入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する

- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖指紋登録

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

- 認証操作が必要な画面ロックを設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。

2 予備の画面ロック方式を選択→画面の指示に従って設定

3 [指紋]

4 画面の指示に従って指紋を登録→[次へ]

- [タップしてロック解除する]をONにすると、スリープモード中に指紋センサーをタップしてロックを解除できます。

5 [完了]

- [別の指紋を登録]をタップすると、別の指紋を登録できます。
- 指の選択画面で登録した指をタップすると、指紋で起動できるアプリを登録できます。→P114

✓お知らせ

- 手順3で[端末をロック解除する]をOFFにすると、画面ロックの解除時に指紋認証を使用しないように設定できます。また、[アプリで本人確認を行う]をOFFにすると、アプリでの本人確認時に指紋認証を使用しないように設定できます。

❖指紋認証の操作

1 ロック画面で、登録した指で指紋センサーに触れる

- 正しく認証されない場合は、ロック画面を上にスワイプして、指紋登録時に設定した予備の画面ロック方式（パターン／PIN／パスワード）で認証操作を行ってください。

◆顔認証機能

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

❖顔認証利用時の留意事項

- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性は他の認証方法よりも劣ります。

❖顔登録時の留意事項

- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

❖顔を登録する

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

- 認証操作が必要な画面ロックを設定している場合は、認証操作を行って手順3に進みます。

2 予備の画面ロック方式を選択→画面の指示に従って設定

3 [顔認証でロック解除]→[次へ]

- [ロック画面をスキップ]をONにすると、顔認証後にロック画面で上にスワイプする操作をスキップすることができます。

4 画面の指示に従って顔を登録→[完了]

✓お知らせ

- 手順3で[端末をロック解除する]をOFFにすると、画面ロックの解除時に顔認証を使用しないように設定できます。

❖顔認証の管理

顔認証時の動作の設定や、顔認証データの削除などができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[デバイスのロック解除]→[顔認証と指紋認証によるロック解除]

2 認証操作

3 [顔認証でロック解除]→各項目を設定

ロック画面をスキップ：顔認証でロックを解除した後、ロック画面を上にスワイプする操作をスキップするかを設定します。
顔認証データを削除：登録した顔認証データを削除します。
フェイススキャンをやり直す：顔認証データの登録をやり直します。

❖顔認証の操作

1 ロック画面で、顔がインカメラの前になるように本製品を持つ

- 正しく認証されない場合は、ロック画面を上にスワイプして、顔登録時に設定した予備の画面ロック方式（パターン／PIN／パスワード）で認証操作を行ってください。

◆プライバシー管理

プライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[プライバシー管理]

2 各項目を設定

権限マネージャー：アプリの権限の設定を変更できます。
広告：Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
ヘルスコネクト：健康に関するデータへのアプリのアクセス権を管理します。
位置情報を共有する方法の更新：位置情報を共有する方法が変更されたアプリを確認します。

カメラへのアクセス：すべてのアプリとサービスにカメラへのアクセスを許可するかを設定します。
マイクへのアクセス：すべてのアプリとサービスにマイクへのアクセスを許可するかを設定します。
クリップボードへのアクセスを通知：クリップボードにコピーしたテキストや画像などにアプリがアクセスしたときに、メッセージを通知するかを設定します。
パスワードを表示：パスワード入力時に入力した文字を短い間表示するかを設定します。
位置情報へのアクセス：設定方法→P108
アクティビティ管理：ウェブとアプリのアクティビティを保存するかを設定します。

◆その他のセキュリティとプライバシー

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティとプライバシー]→[その他のセキュリティとプライバシー]

2 各項目を設定

ロック画面上の通知：ロック画面の通知の表示について設定します。
メディアプレビュー：メディアのプレビューをロック画面に表示するかを設定します。
カメラ ソフトウェアの拡張機能を許可する：カメラの拡張機能を許可するかを設定します。
アプリのコンテンツ：Android システムにコンテンツを送信することをアプリに許可します。
Android System Intelligence：交流したユーザー、操作したアプリやコンテンツに基づいて候補を表示します。
Google の自動入力サービス：Google アカウントに保存されているパスワードなどを自動で入力するかを設定します。
使用状況と診断情報：使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかを設定します。
ロック解除延長※1：以下の間、画面ロックを解除したままにできます。
- デバイスを携帯している間
- 信頼できる場所の近くにある間
- 信頼できるデバイスの近くにある間

Android セーフ ブラウジング：対応するアプリを確認したり、最新の脅威対策を使用するかを設定したりします。
デバイス管理：デバイス管理アプリを有効にするかを設定します。
SIM ロック※2：設定方法→P45
暗号化と認証情報：本端末が暗号化されていることを確認したり、認証情報を管理したりします。本端末では［スマートフォンの暗号化］の設定を変更することはできません。
信頼できるエージェント※1：ロック解除延長などの機能の信頼できるエージェントを管理します。
アプリ固定：現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

※1 画面ロックを［なし］／［スワイプ］に設定している場合は選択できません。
※2 nanoSIMカードとeSIMのどちらも利用できない状態、または［SIMとモバイルネットワーク］の［この SIM を使用する］がOFFになっている場合は表示されません。

✓お知らせ

- ［アプリ固定］の［画面固定の解除前にXXXを要求］※をONにすると、アプリの固定を解除するときに認証操作が必要になるように設定できます。
  ※「XXX」には認証操作の種類が表示されます。［画面固定を解除するときにデバイスをロックする］が表示された場合は、認証操作が必要な画面ロックを設定すると表示が変わります。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→［設定］→［ドコモのサービス／クラウド］

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデート通知や自動アップデートなどを設定します。
おすすめアプリ：おすすめアプリの設定や、通知の履歴の確認をします。
おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントの設定や、ヒントの履歴の確認をします。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末情報送信：情報をドコモが管理するサーバへ送信するための設定を行います。
会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモ初期設定：本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✓お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。

パスワード、パスキー、アカウント

アカウントを追加します。また、お客様ご自身のプロフィールなどを登録できます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[パスワード、パスキー、アカウント]

2 各項目を設定

優先するサービス：自動入力で優先して使用するサービスについて設定します。
所有者のアカウント：登録されているアカウントを表示したり、削除することができます。
アカウントを追加：アカウントの種類を選択してアカウントを追加することができます。
アプリデータを自動的に同期する：アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。
マイプロフィール：設定方法→P81
電話番号（SIM スロット 1）／電話番号（SIM スロット 2）：本端末の電話番号を確認できます。
自分からだ設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報を設定します。

◆手動でアカウントの同期を開始

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[パスワード、パスキー、アカウント]

2 アカウントを選択→[アカウント同期]→⋮→[今すぐ同期]
- 同期を中止するには、同期中に⋮→［同期をキャンセル］と操作します。

Digital Wellbeing、保護者による使用制限

本端末の利用時間などを確認したり、1日に利用できる最大時間をアプリごとに設定したりして、使い過ぎを抑えることができます。また、保護者による使用制限を設定することもできます。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[Digital Wellbeing、保護者による使用制限]

2 各項目を設定

緊急情報と緊急通報

緊急時の情報の登録や、緊急通報に関する設定を行います。

1 ホーム画面で⊞→[設定]→[緊急情報と緊急通報]

2 各項目を設定

緊急情報サービスを開く：緊急情報サービスの設定や機能確認、情報の登録などを行います。
医療に関する情報：緊急時の初期対応に役立てられる血液型などの情報を設定します。
緊急連絡先：緊急連絡先を登録します。
緊急 SOS：緊急SOSを使用するかを設定します。緊急SOSを使用する前にカウントダウンアラームを使用するかを設定したり、緊急通報用の電話番号を設定したりできます。
緊急位置情報サービス：お住まいの地域が緊急位置情報サービスに対応している場合、緊急通報番号に電話をかけるかテキストメッセージを送信すると、本製品の位置情報が緊急サービスパートナーに自動的に送信されます。
地震アラート：周辺の地域でマグニチュード4.5以上の地震が起きた場合に、地震に関する情報を受信するかを設定します。
災害情報アラート：周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受け取るかを設定します。
不明なトラッカーのアラート：携帯している不明なトラッカーが検出されたときに通知するかを設定します。

運転中の通知をサイレントにする：運転中の通知などに関する詳細を設定します。
緊急速報メール：緊急速報メールに関する設定をします。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で⊞(アプリ一覧)→[設定]→[ユーザー補助]

2 各項目を設定

arrows AIアシスタント：arrows AIアシスタントを使用するかを設定します。
Exlider機能：電源キーをなぞる／ダブルタップすることで画面のスクロールや拡大をするかを設定します。
おすすめ使い方ヒント：おすすめ使い方ヒントを利用できるように設定します。
TalkBack：画面上の項目を読み上げるかを設定します。
選択して読み上げ：選択したテキストを読み上げるかを設定します。
表示サイズとテキスト：フォントサイズや表示サイズ、テキストを太字にするなどの設定を行います。
色と動き：画面上の色調、明暗、アニメーションなどの表示を設定できます。
さらに明るさを下げる：画面の明るさを、設定できる最低限の明るさよりも下げるかを設定します。
拡大：拡大のショートカットや拡大の種類などを設定します。
スイッチ アクセス：対応する外部機器などから本端末を操作できるように設定します。
ユーザー補助機能メニュー：ユーザー補助機能メニューのショートカットなどの設定ができます。

タイミングの管理：押し続ける時間や操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）の設定を行います。
システム操作：システムナビゲーションや画面の自動回転などの設定を行います。
バイブレーションとハプティクス：バイブレーションやタップ操作時のフィードバックの強さを設定できます。
- アプリによってはOFFに設定してもバイブレーションが無効にならない場合があります。

自動字幕起こし：自動字幕起こしに関する設定をします。［自動字幕起こしを使用する］をONにすると、音声を検出して自動的に字幕を表示します。
字幕の設定：字幕に関する設定をします。
音声による説明：対応する映画や番組で表示される内容の説明を読み上げます。
点滅による通知：通知を受け取ったときやアラームが鳴ったときに、ライトまたは画面を点滅させて通知するかを設定します。
補聴器：補聴器（市販品）との接続について設定します。
音声の調整：モノラル音声やオーディオ バランスの設定を行います。
ユーザー補助機能のショートカット：ユーザー補助機能メニューのショートカットの表示について設定を行います。
テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。

✓お知らせ

- ［システム操作］の［電源ボタンで通話を終了］をONに設定しているとき、通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと、通話を終了できます。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
Audiobooks	オーディオブックのファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Documents	各種ドキュメントファイル
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Recordings	録音した音声ファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P36

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。

1 ホーム画面で[Google]→[Files]

2 目的の操作を行う

- ≡をタップすると、設定の変更やヘルプの確認、ファイルの削除などができます。
- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 各カテゴリまたはストレージをタップ→ファイルのサムネイルをロングタッチするか、ファイル名の右にある ⋮ をタップ（リスト表示の場合）すると、ファイルの共有や削除、移動やコピー、ファイル名の変更などの操作ができます。

データ通信

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョンについては「主な仕様」をご覧ください。→P177
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n/ax）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth を使用]をON／OFFにする

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHFP／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は5台です。
- Qualcomm® aptX™ audioを搭載しているBluetooth機器で、aptXオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]

2 [新しいデバイスとペア設定する]

3 検出されたBluetooth機器名をタップ→必要に応じてBluetoothペア設定コードを入力→[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてBluetoothペア設定コードを入力→［ペア設定する］をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

「フォト」アプリ（→P99）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉「フォト」アプリのファイルを送信する

1 「フォト」アプリを開いて画像をタップ

2 [共有]→[Bluetooth]

- 編集画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 Bluetooth機器名をタップ

- 通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→「着信ファイル」→[承諾]

・受信したファイルは、通知パネルを開いて「Bluetooth共有：受信したファイル」の通知をタップすると確認できます。

◆Bluetooth機器の設定

イヤホンマイクやキーボードなどのBluetooth機器を接続済みの場合は、次の操作で接続やペアリングを解除したり、機器名を変更することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]

2 接続中のBluetooth機器名右側の→各項目を設定

接続解除：[接続を解除]

・再接続する場合は、［保存済みのデバイス］欄の接続するBluetooth機器名をタップします。

ペアリング解除：[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]

・Bluetooth機器との接続を解除している場合は、［保存済みのデバイス］欄のBluetooth機器名右側の→［削除］→［このデバイスとのペア設定を解除］をタップして解除できます。

機器名の変更：→機器名を入力→[名前を変更]

・Bluetooth機器との接続を解除している場合は、［保存済みのデバイス］欄のBluetooth機器名右側の→→機器名を入力→［名前を変更］をタップして変更できます。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能などが本端末でご利用いただけます。

・NFCを利用するときの設定については、「NFC／おサイフケータイの機能をONにする」をご覧ください。→P102

docomo Starlink Direct

本サービスは、SpaceX社が提供する衛星通信サービス「Starlink」を活用し、衛星とスマートフォンが直接通信できるサービスです。スマートフォンが地上の基地局を介さずに衛星と直接接続することで、山間部や離島、海上など今までエリア化が困難だった地域や、災害発生時など地上の通信設備が被災した地域において、テキストメッセージの送受信や対応アプリにおけるデータ通信が可能になります。

- docomo Starlink Directは、お申し込み不要で当面無料でご利用いただけます。詳細はHPをご確認ください。
  https://www.docomo.ne.jp/service/starlink_direct/
- ドコモ回線をご利用で、本サービス対応機種および対応SIMをご利用中のお客さまにご利用いただけます。あわせて、本サービスをご利用いただくには、OSが最新の状態であることをご確認ください。
  ※本サービスのご利用には5GもしくはXiのご契約が必要です。
- サービスエリアは、日本国内（領海を含む）のドコモ5G／4Gエリア外です。
  ※本サービスは圏外時専用のため、ドコモ5G／4Gエリア内またはWi-Fiに接続している場合はご利用いただけません。
  ※条件を満たすと、自動的に衛星通信に切り替わります。
  ※領海は基線から12海里（約22.2km）までの範囲を指します。

◆対応アプリの確認方法

ご利用中の端末にインストールされているアプリのうち、本サービスに対応しているアプリを確認できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]

2 SIMを選択→[衛星接続]

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブルで本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 11に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

USBモードの選択画面が表示されます。

2 ⚙

USBの設定画面が表示されます。

- 通知パネルを開く→［このデバイスを USB で充電中］をタップしても、USBの設定画面を表示できます。

3 ［USB の使用目的］欄からUSB接続の用途を選択

- 認証操作が必要な画面ロックを設定している場合は、認証操作を行って手順4に進みます。

ファイル転送：MTP対応のパソコンなどにデータを転送できます。
USB テザリング：設定方法→P125
MIDI：本端末をMIDI入力に使用します。
PTP：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。
Smart Connect：「Smart Connect」アプリを利用して本端末をパソコンなどとペア設定し、ファイルの共有ができます。
データ転送なし：本端末の充電のみ利用できます。

4 目的の操作を行う

✓お知らせ

- 本端末でmicroSDカードがマウント（認識）されていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で→［設定］→［ストレージ］→［このデバイス］→［SDカード］→⋮→［マウント］をタップしてからパソコンに接続します。

プリンタとの接続

◆ デフォルトの印刷サービスでプリンタを接続

デフォルトの印刷サービスではプリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[印刷]→[デフォルト印刷サービス]

2 [印刷サービスの使用]をONにする

対応のプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、⋮→［プリンタを追加］をタップして手動でプリンタを追加してください。

◆ 印刷

1 印刷可能なアプリの画面で⋮→[印刷]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 印刷する手順はアプリにより異なります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/

✓お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。
- 海外利用時は現地の法制度等を確認して使用してください。

海外で利用可能なサービス

○：利用可能
-：利用不可

主な通信サービス	5G	LTE	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	-	○	○	○	○
SMS	-	○	○	○	○
パケット通信※	-	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミング設定を「ON」にしてください。→P161

✓お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、クイック設定（→P58）の画面上部に表示されます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約・料金について

事前にWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。ご利用いただいている料金プランによってはお申し込みが不要です。

- 海外でのご利用料金は日本国内とは異なります。
- 詳細については、ご利用いただいている料金プランのホームページをご確認ください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

◆ 事前設定

■ オプションサービスの設定について

オプションサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのオプションサービスをご利用になれます。ただし、一部のオプションサービスはご利用になれません。

- 海外でオプションサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。
- 設定／解除などの操作が可能なオプションサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

■ 接続について

ホーム画面で→［設定］→［ネットワークとインターネット］→［SIMとモバイルネットワーク］→SIMを選択→［ネットワークを自動的に選択］をONにしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

❖データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]→SIMを選択

2 [データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]→SIMを選択

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選択

✓お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で［ネットワークを自動的に選択］をONにしてください。

❖優先ネットワークの種類の設定

1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIMとモバイルネットワーク]→SIMを選択→[優先ネットワークの種類]

2 [5G/4G/3G/GSM]／[4G/3G/GSM]／[3G/GSM]

✓お知らせ

- 優先ネットワークの種類を自動に設定する場合は、手順2で［5G/4G/3G/GSM］をタップしてください。

❖日付と時刻について

［日付と時刻］の［日時の自動設定］、タイムゾーンの［タイムゾーンの自動設定］をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P137

❖お問い合わせについて

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で→

2 「0」をロングタッチ→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

4 通話が終了したら

◆国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用して国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります。→P165
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

電話帳からは国際ダイヤルアシストを利用した発信となります。

1 ホーム画面で→

2 地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

3

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は［国番号+XX（XXX）を付けて発信する］をタップします。

4 通話が終了したら

◆滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で→

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3

- 「国際ダイヤルアシスト」画面が表示された場合は「元の番号で発信」をタップします。

4 通話が終了したら

◆海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先に関わらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  ＋（「0」をロングタッチ）-81（日本の国番号）-先頭の「0」を除いた電話番号

◆滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

◆相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で

2 →[設定]→[国際ダイヤルアシスト]

3 各項目を設定

自動変換機能：国際ダイヤルアシストを利用するかを設定します。

デフォルトの居住国：国際ダイヤルアシストで自動的に追加される国番号を選択します。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

［データローミング］をOFFに設定してください。→P161

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ［優先ネットワークの種類］を［5G/4G/3G/GSM］に設定してください。→P162
- ［ネットワークを自動的に選択］をONに設定してください。→P162

付録

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P172
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。→P39

●画面が動かない／電源が切れない

- 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に電源キーと音量キーの下を同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。
- 電源キーを16秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P40
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタやUSBケーブルのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか。→P40
- 本端末をパソコンでUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P41
- スリープモードになっていませんか。電源キーを押して解除してください。→P41

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P60
  - ◁（バックアイコン）でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定などarrowsについてのサポート情報や便利な使いかたについては、arrowsポータルをご覧ください。→P104

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では［機内モード］をONにするか、電源を切ってください。→P41、P119
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池の残量表示は、劣化度や使用環境、使用状況により数値をまたぐような変化になる事があります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（→P174）をご確認ください。
- 充電量を約80%に抑えることにより、内蔵電池の寿命を延ばすことができます。→P135
- Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→P119、P155

●nanoSIMカードが認識されない

nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P34

●タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、また、充電しながら電話や動画の視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 明るさのレベル→P132
  - 画面消灯→P132
  - バッテリーセーバー→P136
  - さらに明るさを下げる→P150
- 本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなることがあります。
- 指やシールなどで近接センサー／照度センサーをふさいでいませんか。→P31

●ディスプレイがちらつく

［明るさの自動調節］をONにしていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P132

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。［日付と時刻］の［日時の自動設定］／［タイムゾーンの自動設定］がONになっていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P137

●端末動作が不安定

- ストレージの空き容量が少なくなると、一部のシステム機能が動作しない可能性があります。［設定］の［ストレージ］から不要なファイルなどを削除して空き容量を増やしてください。
- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
- セーフモードとはお買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能です。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で、電源キーを長押し／電源キーと音量キーの上を同時に押す→［電源をOFFにする］／［再起動］をロングタッチ→［OK］
  - 電源を切った状態で電源キーを3秒以上押し、Android のロゴが表示されて本端末が振動したらすぐに音量キーの下を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

※ アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

●タップしても正しく操作できない

- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

●本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリをアンインストールしたり、不要なファイルを削除してください。→P100、P128、P153

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P129

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P41

■ 通話・音声

●をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P119

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

- 通話音量を調節してください。→P77

●通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、nanoSIMカードを取り付け直してください。→P34、P41
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は圏外を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信のブロックを設定していませんか。→P79
- ［優先ネットワークの種類］（5G/4G/3G/GSM）を変更していませんか。→P162
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- ［着信音の音量］を0にしていませんか。→P131
- 機内モードを設定していませんか。→P119
- 着信のブロックを設定していませんか。→P79
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモの［着信呼出設定］→P78
  - 留守番電話サービスの呼出時間
  - 転送でんわサービスの呼出時間

※留守番電話サービス／転送でんわサービスの詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。

●電話がつながらない

- nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P34
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P119

■ カメラ

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- 近くの被写体を撮影するときは、マクロカメラに切り替えてください。→P95
- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない

- ［NFC／おサイフケータイ］がOFFになっていませんか。→P102
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P103
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P103
- おまかせロックを設定するとステータスバーにが表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。

■ 海外利用

●海外で、Rが表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- [優先ネットワークの種類]を[5G/4G/3G/GSM]に変更してください。→P162
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。→P162
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P41

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミングサービス（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定をONにしてください。→P161

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P37

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像が表示されない

画像データが壊れている場合は黒い画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P155、P156

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ その他

●市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない

Type-C用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C用変換アダプタと外部機器を接続後、本端末に接続してください。

※ 市販品のすべてを保証するものではありません。HOST機能（OTG機能）対応と記載があるものをご使用ください。

◆エラーメッセージ

●指紋認証ハードウェアは使用できません
指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

●音声サービスと緊急通報のブロック／音声通話サービス停止／緊急通報のブロック／モバイルデータ サービスのブロック
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●SIMが使用できません
nanoSIMカード／eSIMのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P45

●SIMがありません
nanoSIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P34

●「docomo※」SIM1 のPIN を入力してください
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P45

※利用されている通信事業者名が表示されます。初回起動時は「CARD1」と表示されます。

●SIMが無効になりました。続行するにはPUKコードを入力してください。入力できるのはあとXX回です。この回数を超えるとSIMは完全に使用できなくなります。詳しくは携帯通信会社にお問い合わせください。
nanoSIMカード／eSIMがPINロック解除コード（PUK）でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード（PUK）を入力してください。→P46

ソフトウェアアップデート

◆ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。
ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。
※ 本端末ではシステムアップデートと表示されます。

■ Android OS バージョンアップ

Android OS およびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質などが向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。

■ 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ セキュリティパッチの更新

セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ソフトウェアアップデートを行う

❖更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

■ 更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。

■ 定期的に表示される画面から

本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。

■ 本体設定から

ホーム画面で→［設定］→［システム］→［システムアップデート］をタップし、更新を開始します。
※ アップデートが不要な場合、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。

❖更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント(APN)をdocomoに設定し、docomoをモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。
[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。
[2:00以降に再起動] をタップすると、夜間に自動で再起動されます。

※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に［後で行う］をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類が Android OS バージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

❖注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号、ソフトウェアバージョン情報など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべての機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続が必要です。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 通話中

- 日付・時刻を正しく設定していないとき
- 必要な電池残量がないとき
- 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
- 国際ローミング中

- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- サポート期間中にソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。
- サポート期間終了後にソフトウェアアップデートが配信される場合がございますが、ソフトウェアアップデートについてはお客様の責任において実施してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください（付属品がある場合は対象に含みます）。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

■ 無料修理規定

① 保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）

② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。

1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・

水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
6. ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only on Japan.

④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。

⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。

⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。→P166

■ 修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 内蔵電池の交換は

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換は、有料修理となります。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

■本体

サイズ		高さ約155mm×幅約72mm×厚さ約8.6mm
重量		約187g
ディスプレイ	**サイズ**	約6.4インチ
	種類	有機EL
	解像度（ピクセル数　横×縦）	Super HD（1200×2670）
内蔵メモリ		RAM 12GB／ROM 512GB※1 RAM 8GB／ROM 256GB※1
バッテリー容量	**バッテリー容量**	5370mAh
	ワット時定格値	19.80Wh
連続待受時間（静止時）※2、3	**4G（LTE）**	RAM 12GB／ROM 512GBモデル：約590時間 RAM 8GB／ROM 256GBモデル：約610時間
連続通話時間※3、4	**LTE（VoLTE）**	**VoLTE（HD+）** RAM 12GB／ROM 512GBモデル：約2120分 RAM 8GB／ROM 256GBモデル：約2110分
充電時間		ACアダプタ08：約70分 ACアダプタ09M：約60分
無線LAN	**対応規格**	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠 （IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz） （IEEE802.11ax対応周波数帯：2.4GHz/5GHz/6GHz）
Bluetooth機能	**バージョン**	5.4※5
イヤホンマイクジャック		非搭載
カメラ	**有効画素数**	アウトカメラ（広角）：約5030万画素 アウトカメラ（超広角）：約4990万画素 インカメラ：約4990万画素
伝言メモ		対応

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。

使用可能な空き容量については、「ストレージ」をご覧ください。→P134

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。

※5 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

携帯電話機の電波防護への適合性

この機種F-51Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm^{2}です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：0.948 ※2、身体に装着した場合の最大値：0.335 ※3となっています※4。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）

が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/
FCNTの製品情報ページ
https://www.fcnt.com/sar/f-51g-dcm/
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 1.433 W/kg、PD（吸収電力密度）0.4631 mW/cm^2、身体装着時：SAR 0.499 W/kg、PD（吸収電力密度）0.1705 mW/cm^{2}です。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

This model F-51G mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves *1. These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm^2, respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to

indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.

The TER for this mobile phone when tested for use near the head is 0.948 *2, and that when worn on the body is 0.335 *3 *4. There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/
FCNT LLC Product Information Website:
https://www.fcnt.com/sar/f-51g-dcm/ (in Japanese only)

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of 1.433 W/kg and Absorbed Power Density (APD) of 0.4631 mW/cm^2 for use near the head, and SAR of 0.499 W/kg and Absorbed Power Density (APD) of 0.1705 mW/cm^2 when worn on the body.

◆ Declaration of Conformity

FCNT LLC. declares on its sole responsibility that this product (including its accessories) meets the essential requirements of the applicable EU Directives:
RE Directive (2014/53/EU)

The full text of the EU DoC is available at the following internet access:
https://www.fcnt.com/support/ce/pdf/ce_f-51g-dcm.pdf

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*1 limits*2 for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR*1 value, when tested for compliance against the standard was 1.97 W/kg*3 for HEAD and 1.93 W/kg*3 for BODY. While there may be differences between the SAR*1 levels of various phones and at various positions, they all meet*4 the EU requirements for RF exposure.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

SAR distance Warning: The device could be used with a separation distance of 0.5cm to be human body.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- Operation of transmitters in the 5.925-7.125 GHz band is prohibited for control of or communications with unmanned aircraft systems.

◆Regulatory Information (e-label)

To view the regulatory information, tap the app list on your phone home screen, then tap:
Settings > About phone > Regulatory labels

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg or SPLSR (SAR to Peak Location Separation Ratio) <0.4. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.57 W/kg*, and when worn on the body, is 1.89 W/kg (SPLSR is 0.02)*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID 2BEPUFMP205).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 0.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Battery :

- Do not remove the battery from yourself. If you encounter a problem, contact Crosscall Customer Services.
- Use the charger included in your original phone box.
- Do not expose it to temperatures above 55℃/ 131℉.
- Do not tamper with your phone using sharp metal objects because this may puncture the battery.
- If your phone has been crushed or severely damaged and the battery is affected, do not touch your phone and contact Customer Services who will tell you the procedure to follow.
- If you detect signs of overheating (abnormal smell, suspicious marks), do not touch your mobile and contact Customer Services

immediately who will tell you what procedure to follow.
- Do not short-circuit.
- Recycle the battery according to standards in force.
- Do not throw into fire.
- Do not charge your phone during an electrical storm.
- Do not use your charger in a humid environment, this could cause short-circuits, fires, or damage the charger.
- Leaving a battery in an extremely high-temperature environment can result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.
- A battery subjected to extremely low air pressure may result in an explosion or the leakage of flammable liquid or gas.

※ Temperature range(5℃ to 35℃)

Warning

This device has been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>



High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

Temperature range (5℃ to 35℃)

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「おまかせロック」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「公共モード」「マチキャラ」「spモード」「Xi／クロッシィ」「dアカウント」「dメニュー」「dポイントマーケット」「イマドコサーチ」「my daiz」「dフォト」「d払い」「dカード」「オフィスリンク」および「dmenu」ロゴ「dポイントマーケット」ロゴ「d払い」ロゴ「ドコモ留守電」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」はNTT株式会社の登録商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Google Play、Google フォト、Gmail、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
  Google Gemini のご利用にはインターネット接続および対応するOSが必要です。ご利用の国や使用するデバイスや言語によってご利用いただけない場合があります。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。
- 「UD新ゴNT」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。「UD新ゴNT」は、同社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、WPA3、Wi-Fi Enhanced Open、Wi-Fi Directは Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Vidhance®」はVidhance AB社の商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Atmos及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporationの登録商標です。
  非公開機密著作物。著作権 2012-2024 年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、Via Licensingから入手できる可能性があります。
  https://www.via-la.com/licensing-programs/avc-h-264/ をご参照ください。

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアにFCNT合同会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で→［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［サードパーティ ライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づきFCNT合同会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://www.fcnt.com/oss/
  または、本製品に利用しているGPL/LGPLライセンスが適用されたソフトウェアのソースコードをご希望の方は、デバイスのモデル名、ビルド番号を含め、以下のメールアドレスにてご依頼ください。
  fcntsupport@custhelp.com
- ソースコードの公開は、本製品の発売後またはOSバージョンアップ後から最低3年間維持します。
- 本ソフトウェアは、有用性を期待して提供しますが、商品性や特定の目的への適合性を含む保証は一切いたしません。
- 本製品には、FCNT合同会社が開発していないアプリケーションが含まれる場合があり、それらには発行元が提供するオープンソースソフトウェアが含まれることがあります。これらのソフトウェアのソースコードは、対応するライセンスの範囲内で、各発行元から入手できます。

索引

索引

ア行

アイコン 55
ステータスアイコン 56
ステータスバー 56
通知アイコン 56
ナビゲーションバー 55
バックアイコン 55
ホームアイコン 55
履歴アイコン 55
アウトカメラ 31
アカウント
削除 148
自動で同期 148
自分の電話番号 148
手動で同期 149
追加 148
アカウントのセキュリティ 141
明るさの自動調節 132
アクションキー 32
アクセスポイント 124
確認 124
初期化 124
追加 124
アフターサービス 174
アプリ 128
削除（アンインストール） 128
無効化 129
アプリ一覧 66
アプリの権限 49
アプリのセキュリティ 141
アラーム 110
アラーム音 130
洗いかた 27
暗号化 146
暗証番号 44
イーサネットテザリング 126
位置情報
設定 108
位置情報・GPS 107
インカメラ 31
印刷 159
ウェブブラウザ 90
新しいタブを開く 90
印刷 92
画像をダウンロード 92
画面操作 90
シークレットタブ 91
設定 93
表示 90
ブックマーク 91
変更 90
履歴 91
リンク操作 92
エラーメッセージ 171
エリアメール 89
後で確認 89
削除 89
受信 89
オープンソースソフトウェア 188

おサイフケータイ.....101
ロック設定.....103
おサイフケータイ対応サービス.....102
音とバイブレーション.....130
おやすみ時間.....111
音声検索.....112
音声入力.....51, 54
音量.....131
音量キー.....32

カ行

海外利用.....160
海外でご利用になる前に.....161
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける.....164
帰国後の確認.....165
国際ダイヤルアシストの設定.....165
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける.....163
設定.....161
滞在先で電話を受ける.....164
滞在先で電話をかける.....163, 164
通信サービス.....160
外装ケース.....31, 32
外部機器接続.....158
デフォルト印刷サービスでプリンタを接続.....159
パソコンとの接続.....158
外部ストレージ.....36, 152
顔認証.....144
管理.....145
削除.....145
登録.....145
認証操作.....145
かこって検索.....55
仮想プライベートネットワーク.....126
仮想メモリ.....114, 140
カメラ.....94
カメラ設定.....98
撮影画面の見かた.....95
撮影時の注意事項.....94
撮影モード.....96
静止画撮影.....97
動画撮影.....97
画面の自動回転.....132
画面ロック
解除.....42
解除方法の設定.....141
かける.....41, 142
パスワード.....44
パターン.....44
PIN.....44
画面ロックの音.....130
カラー.....132
キーボード.....50, 137
手書き入力.....51
テンキーキーボード.....50
QWERTYキーボード.....51
機内モード.....119
緊急情報と緊急通報.....149
医療に関する情報.....149
運転中の通知をサイレントにする.....150
緊急位置情報サービス.....149
緊急情報サービスを開く.....149
緊急速報メール.....150
緊急連絡先.....149
緊急 SOS.....149
災害情報アラート.....149
地震アラート.....149

不明なトラッカーのアラート 149
緊急速報「エリアメール」 89
近接センサー 31
クイック設定 58
クイック返信 78
言語と地域 136
検索 112
音声検索 112
Google 検索 112
国際ダイヤルアシスト 165
国際電話（WORLD CALL） 74
国際ローミング（WORLD WING） 160

サ行

材質 16
ジェスチャー 134
アクションキー 134
片手モード 134
システムナビゲーション 134
電源キー 134
時刻 137
自動字幕起こし 131
自分からだ設定 148
自分の電話番号 140
指紋認証 143
登録 144
認証操作 144
充電 39
注意事項 39
パソコン 40
ACアダプタ 40
充電時の音とバイブレーション 131
受話口／スピーカー 31
仕様 177
照度センサー 31
商標 186
初期化 139
初期設定 42
診断データ送信 140
信頼できるエージェント 146
スクリーンショット 49
スクリーンセーバー 132
スケジュール 109
登録 109
表示 110
ステータスアイコン 56
ステータスバー 56
ストップウォッチ 111
ストレージ 134, 152
スピーカー 33
スペルチェック 137
スライド 48
スライドイン機能 115
スライドインランチャー 60
スライドスポット 60
スリープモード 41
スロットキャップ 33
スワイプ 48
静止画・動画撮影画面 95
静止画表示 99
世界時計 110
セカンドマイク 33
セキュリティとプライバシー 141
接続済みのデバイス 127
接続の設定 127
設定メニュー 113
送話口 33
側面 32

その他のセキュリティとプライバシー 141, 146
ソフトウェアアップデート 172

タ行

タイマー 111
ダイヤルパッドの操作音 130
タスク管理 60
タッチパネル 31
　注意事項 47
　使いかた 47
タップ 47
タップ／クリック操作音 130
ダブルタップ 47
単語リスト 137
端末情報 140
　カメラ 140
　規制ラベル 140
　ストレージ 140
　ディスプレイ 140
　デバイスの詳細 140
　デバイス名 140
　デバイスID 140
　法的情報 140
　RAM 140
ダークモード 132
知的財産権 186
着信音 130
着信拒否 75
着信拒否設定 77
着信のブロック 79
通気孔 32
通信事業者 162
通知 129
通知アイコン 56
通知音 130
通知パネル 57
ディスプレイ 31, 132
　縦／横画面表示の自動切り替え 49
データセーバー 123
データの警告と制限 122
データのバックアップまたはコピー 135
データローミング 161
手書き入力 51
テキスト編集 54
テキスト読み上げの出力 151
テザリング 124
　イーサネットテザリング 126
　Bluetoothテザリング 125
　USBテザリング 125
　Wi-Fiテザリング 125
デバイス管理アプリ 146
デバイスの探索 141
デバイスのロック解除 141
　顔認証 144
　画面ロック 141
　指紋認証 143
テンキーキーボード 50, 52
　ケータイ入力 52
　ジェスチャー入力 53
　フリック入力 52
　2タッチ入力 53
電源キー／指紋センサー 32
電源を入れる 41
電源を切る 41
伝言メモ 78
　設定 78
　着信呼出設定 78
　リスト 78

録音 75
電卓 112
電池
充電 39
寿命 39
電話 72
受ける 75
かける 72
緊急通報 73
通話音量 77
通話設定 78
通話中の操作 76
保留 77
電話帳 79
動画再生 99
時計 110
アラーム 110
おやすみ時間 111
ストップウォッチ 111
世界時計 110
タイマー 111
ドコモのサービス／クラウド 147
オープンソースライセンス 147
おすすめアプリ 147
おすすめ使い方ヒント 147
会員情報／プロフィール情報設定 147
端末情報送信 147
ドコモアプリ管理 147
ドコモ位置情報 147
ドコモ初期設定 147
dアカウント設定 147
USBデバッグ切替 147
ドコモメール 82
ドラッグ 48
トラブルシューティング 166

ナ行

内部ストレージ 152
ナビゲーションバー 55
入力方法の切り替え 53
認証情報 146
ネットワーク暗証番号 44
ネットワークとインターネット 119

ハ行

バイブレーションとハプティクス 130
バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示 131
背面 31
パスワード、パスキー、アカウント 148
バックアップ 138
発信者番号通知 74
発着信履歴 77
バッテリー 135
バッテリーセーバー 136
パフォーマンス 140
パン 48
非接触型決済 102
日付 137
日付と時刻 137
時刻 137
タイムゾーン 137
タイムゾーンの自動設定 137
タイムゾーンの設定に位置情報を使用 137
日時の自動設定 137
日付 137
24時間表示 137

表示オプション 78
表示サイズとテキスト 132
ピンチ 48
ファイル操作 153
フォト 99
　静止画表示／動画再生 99
フォント 132
ブックマーク 91
　削除 91
　登録 91
　編集 91
プッシュ信号 74, 77
プライバシー管理 145
プライバシーモード 115
プライベートDNS 126
フラッシュ 31
フリック 48
分割画面 61
ボイスメール 79
ポインタの速度 137
防水／防塵、耐衝撃性能 23
ホームアプリの情報 70
ホーム画面
　アプリアイコンなどの移動 64
　アプリアイコンを追加 64
　アプリアイコンをホーム画面から削除 64
　アプリのアンインストール 64
　ウィジェットなどの削除 64
　管理 64
　設定 65
　フォルダ名の変更 64
　見かた 63
ホーム画面切替 62
ホーム画面とロック画面 133
ホーム画面の設定 133
保証 174
歩数計 137
本体メモリ 152

マ行

マイク 33
マップ 109
水抜き 29
脈波センサー 31
迷惑電話対策機能 117
メール 82, 88
メッセージ 88
　送信 88
　表示 88
メディア 131
メモリクリーナー 115
モード 131
文字入力 50
　音声入力 51
　キーボード 50
　設定 53
　テキスト編集 54
モバイルデータ 122

ヤ行

ユーザー補助 150
　色と動き 150
　おすすめ使い方ヒント 150
　音声による説明 151
　音声の調整 151
　拡大 150
　さらに明るさを下げる 150

システム操作 151
自動字幕起こし 151
字幕の設定 151
スイッチ アクセス 150
選択して読み上げ 150
タイミングの管理 151
テキスト読み上げの出力 151
点滅による通知 151
バイブレーションとハプティクス 151
表示サイズとテキスト 150
補聴器 151
ユーザー補助機能のショートカット 151
ユーザー補助機能メニュー 150
arrows AIアシスタント 150
Exlider機能 150
TalkBack 150
優先ネットワークの種類 162
輸出管理規制 185

ラ行

ライト 31, 58
らくらくコミュニティ 105
ララしあコネクト 105
リセット オプション 139
アプリの設定をリセット 139
おサイフケータイ対応サービスのデータを消去 103
全データを消去（出荷時リセット） 139
デバイス設定をリセット 139
モバイルネットワークの設定をリセット 139
BluetoothとWi-Fiをリセット 139
eSIM を消去 139
ロック画面 42
設定 133
ロック画面の設定 133
ロングタッチ 47

英数字・記号

APN 124
arrows AI 118
arrows passport 116
パスワードの自動生成 117
arrows today 71
arrowsオススメ機能 114
arrowsポータル（La Member's） 104
Bluetooth通信 154
機能ON／OFF 155
接続 155
接続解除 156
設定 156
データ送受信 155
名前を変更 156
ペア設定 155
ペアリング解除 156
Bluetoothテザリング 125
dアカウント 43
dメニュー 100
Digital Wellbeing、保護者による使用制限 149
docomo LIVE UX 62
docomo Starlink Direct 157
Dolby Atmos 131
eSIM 36
ダウンロード 123
FAQ 166
FASTフィンガーランチャー 114
FASTメモ 107
Gmail 88
表示 88

Google 118
Google アカウント 43
Google 検索 112
Google マップ 109
Google Play 100
iDアプリ 104
microSDカード 36, 152
データ消去 134
取り付け 37
取り外し 38
パソコンから操作 158
フォーマット 134
my daiz NOW 70
nanoSIMカード 33
暗証番号 35, 44
取り付け 34
取り外し 35
NFC 156
NFC／おサイフケータイ 102
NFC／おサイフケータイ ロック 103
PINコード 44
設定 45
変更 46
PINロック解除コード（PUK） 45
PINロックの解除 46
Play ストア 100
アプリのインストール 100
QWERTYキーボード 51
SAR 178
SIMとモバイルネットワーク 123
SIMロック 45
SmartNews for docomo 69
Super ATOK ULTIASの設定 53
オープンソースライセンス 54
推測変換 54
操作音・バイブ 54
表示・デザイン 53
文字入力方式／動作 54
ユーザーデータ 54
ULTIASオススメ機能 53
USBテザリング 125
USB Type-C接続端子 33
VPN 126
接続 126
切断 126
追加 126
Wi-Fi 119
削除 120
接続 119
設定 121
追加 120
モバイルデータ以外の通信量 122
Wi-Fiを自動的にONにする 121
Wi-Fiアンテナ部 31
Wi-Fiテザリング 125
Wi-Fi Direct 121
Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部 31
WORLD CALL 74
WORLD WING 160
5G／4Gアンテナ部 31
5G／4G／GPSアンテナ部 31
＋メッセージ 82
スレッド削除 86
設定 87
送信 84
転送 86
メッセージ削除 86
読む 86

SMSアプリの変更.....87

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。

●バイブレーション→P131
電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●ミュート→P131
着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。
詳しい設定方法についてはドコモのホームページをご確認ください。

オンラインでのご利用料金・データ通信量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー→My docomo

パソコンから　My docomo（https://mydocomo.docomo.ne.jp/top）

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントの認証」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600**（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600**（有料）

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶

ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

151　※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話専用窓口（無料）

113　※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などから

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　FCNT合同会社

’26.7(1 版)
RA92999-0043